臺灣日日新報 夕刊
十二月二十六日
夕刊定價一部二錢
編輯兼發行人 臺北市榮町四丁目卅番地 佐々木 [illegible]
發行所 臺灣日日新報社
基隆市旭町(電話七八五) 基隆支局
臺中市寶町(電話四〇七) 臺中支局
臺南市錦町(電話[illegible]) 臺南支局
花蓮港街入船町 花蓮港支局
大阪市西區靭南通二丁目(ユタカビルディング內) 大阪支局
東京市京橋區銀座西二丁目 東京支局

コクヨの まき付 便箋

第七十二議會

晴れの開院式

聖上陛下御親臨

玉音嚴かに勅語

【東京廿六日發同盟】第七十二通常議會晴れの開院式は廿六日午前十一時貴族院に於て行はせられた、この日兩院議員は晴やかな面持の中にも緊張味を見せて參列の顯官と前後して午前九時半頃より續々登院す、天皇陛下には陸軍式の御正裝に大勳位菊花章頸飾を始め各勳章を御佩用、金色燦ゆき四頭立の儀裝馬車に乘御、百武侍從長御陪乘、午前十時卅五分宮城御出門、親王御總代高松宮殿下、王公族御總代東久邇宮稔彥王殿下をはじめ奉り松平宮相、宇佐美侍從武官長、松平式部長官以下供奉申上げ、燦たる天皇旗を先頭に近衞騎兵の儀仗に依る第二公式鹵簿は粛々と同四十五分議事堂御車寄に着御、諸員の奉迎を受けさせ給ひ、松平貴族院議長の御先導にて陛下御便殿に入御、御先着の各皇族方をはじめ奉り、首相を除く各閣僚、平沼、荒井樞府正副議長以下各顧問官並に松平、佐佐木、小山、金光貴族院正副議長等に拜謁仰せつけられた、斯くて陛下には松平式部長官の御前行にて各皇族方、供奉員を從へさせられ諸員最敬禮裡に十一時式場に親臨遊ばされ玉座に着かせ給へば首相代理廣田外相は稻田內閣記官の捧持せる勅語書を捧じ御前に參進して恭しく奉れば陛下にはこれを御手に取らせ給ひ玉音嚴かに優渥なる勅語を賜つた、松平貴族院議長は靜かに御前に參進、謹んで勅語書を拜受して退下し茲に滯りなく御儀を終へさせられ陛下には同十一時五分諸員最敬禮裡に御退場同十五分議事堂御出門 天機麗はしく宮城に還御遊ばされた

重ねて優渥なる勅語

兩院議員は恐懼感激

【東京二十六日發同盟】畏くも 天皇陛下には深く時局を御軫念遊ばされ二十六日開院式に當り左の如く優渥なる勅語を賜ひ時局に對する明瞭の聖勅を垂れさせ給うた、議員一同は去る九月の臨時議會開院式に御異例の勅語を拜し今また重ねて優渥なる勅語を拜して益々時局重大を痛感するとともに有難き聖勅に對し恐懼感激してゐる

勅語

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

帝國ト締盟各國トノ交際ハ益々親厚ヲ加フ朕深ク之ヲ欣フ

朕カ將兵ハ屢戰捷ヲ奏シ大イニ勇武ヲ中外ニ著シ而シテ朕カ銃後ノ臣民亦克ク協力一致シテ時艱ニ當レリ

朕ハ擧國臣民ノ忠誠ニ倚信シ速カニ終局ノ目的ヲ達セムコトヲ期ス

朕ハ國務大臣ニ命シテ昭和十三年度及臨時軍事費ノ豫算案ヲ各般ノ法律案ト共ニ帝國議會ニ提出セシム

朕ハ卿等カ時局ノ重大ニ稽ヘ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

目覺ましい發展

新政府・一週間の業績

【北京二十五日發同盟】中華民國臨時政府は民衆の要望に依つて誕生以來鋭意行政整理に努力するに至り、既に過去一週間に於ける施政は左の如くで成績は極めて顯著なるものあり、將來の發展が期待される

行政機構の充實

(イ)行政部、顧問、政務、外交、財政、交通等五局を新設し、各局に四課を設け、人材を登用し陣容を整備し既に海關接收の如き重要政務に能率を上げてゐる

(ロ)教育部、總務、教育、文化の三局を置き次長制を設け湯爾和氏を登用教育の刷新に邁進すべく教科書の改訂、教育方法の合理的改革については既にその實施を見、臨時政府の施政根本方針に添ひ教育方針を確立しつつあり

(ハ)治安部、旧內務部跡の修理完成を待つて事務開始の段取で既にその組織も略決定を見てゐる部長は特に熱意を以て恒久的治安維持機構の整備、人材養成に努めつつあり、初春とともに飛躍的活躍を示すであらう

(ニ)法制部、部長の下に各部官制その他中央地方に於ける行政機構に關する專門的檢討を加へ、新政權の理想達成に相應しい制度機構の整備に當つてゐる

(ホ)災區救助部、災區救濟に必要な應急對策については既に宗教諸團體への補助金交付等に依り實施し恒久的對策については着々研究中であり、災區救濟の革新的政策が新春とともに實施さるるであらう

(ヘ)地方行政機構、河北省長兼天津市長に任命された高凌霨氏は天津に河北省公署、總備者を設定すべく準備を開始しつつあり近く省公署及び天津特別市組織條例の公布を見、省、中央機關整備の實現を見るべく縣公署の陣容等も刷新されるに至るであらう、一方首都北京の市長に就任した江朝宗氏も北京地方維持會の管理下にあつた諸機關を接收活潑な市政を進めてゐる

財政整備充實

新政府は成立とともに國家收入の基礎をなす海關の接收に着手し、天津海關との間に円滿な諒解の下に天津、秦皇島兩に管下分關の接收を終了し財政の基礎を確立したが更に行政委員會を以て天津關稅整理委員長に對し合理的改正に必要な調査を命じその回答を待つて稅率改正、貿易の調整發展、人民の福利增進に資することになつてゐる

稅制の整理

舊來の營業稅統制局、河北省印花煙酒稅局、冀察天津辦事處、禁煙總局等を接收統一し北京國稅總處としその徵收區域を北京分處一市二十八縣、天津分處一市二十二縣、石家莊分處五十九縣と改め徵稅方法に改善を加へた

幣制金融改善

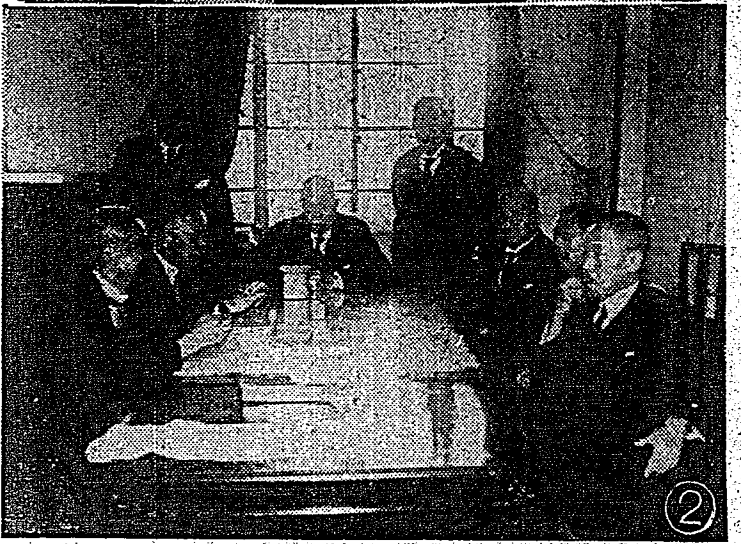
當代稀に見る財政的手腕の持主王克敏氏の努力に依り幣制改革も順調に進められ、何等不安動搖なく幣制統一は成功の域に邁進しつつあり、金融の調整組織も又近く實現される運びを見んとしてゐる

民衆教化

新民主義を維持し政府と表裏一體民衆教化の指導機關たる新民會の活躍に依り政府の前途に横たわる施政上の困難も容易に打開され新政府の善政と新民會の活動とに相待ち民衆の福利增進は刮目し待つべきであらう

その他交通、通信機關も一日と回復整備し、進捗中の山西、河南、山東方面の治安回復實現し新政府の網下に入ることになれば新政府は更に一層基礎を強化することにならう

①


②

③

各派の勢揃ひ

支那事變をめぐる緊迫せる空氣の中に第七十二議會は二十四日を以て召集された、その朝政民兩黨を始め東大其の他の小會派では二十二日一齊に議員總會乃至代議士會を開き對議會陣容を整備した寫眞は(1)政友總務會(2)民政黨議員總會(向つて右より小泉、前田、櫻內、宗の諸氏)(3)出征兵士に贈る日章旗に署名する[illegible]長田氏の[illegible]

青島も航行遮斷

長谷川長官が宣言

【上海二十六日發同盟】長谷川司令長官は二十六日朝青島の航行遮斷を行ふ旨宣言した

廿六日午前八時以降

【上海二十六日發同盟】艦隊報道部二十六日午前十時發表……支那方面艦隊司令長官は二十六日午前八時左の通り宣言せり

十一月二十日本官の宣言したる中華民國沿海に對し同國公私船の交通遮斷は十二月二十六日午前八時以降青島に對してもこれを行ふことを宣言す

全支沿岸の遮斷完成

【上海二十六日發同盟】我艦隊は九月五日全支沿岸航行遮斷の宣言に依つて第三國租借地及び青島を除く爾餘の沿岸に對し支那公私船の航行を遮斷したが今回の青島への航行遮斷に依り第三國租借地を除く全支沿岸の航行遮斷が完成された

パネー號事件

米の態度闡明

ハル長官が聲明發表

【ワシントン二十五日發同盟】ハル國務長官は二十五日午後声明書を發表し二十四日の日本政府の回答に對するアメリカ政府の態度を闡明した、聲明書は七百語から成つてゐるが要旨は左の通りである

一、アメリカ政府はパネー號事件に關し日本政府が十二月廿四日附通牒で速かにその責任を認めるとともに遺憾の意を表し、損害賠償方を申出でられたことを多とす

一、アメリカ政府は日本政府の保障が今後十分實效あることが證明されんことを切望する

一、事件が全く『過失』から發生したと云ふ日本政府の主張に對してアメリカ政府はアメリカ海軍査問委員會の判定に依據する

軍隊用語法を

近く一般化

國定教科書に準據

【東京二十六日發本社特電】支那事變の全面的發展に伴ひ國民精神總動員の叫ばれて居る折柄、兵語、令達、教範を始め公文書に獨特な用語法を採用して居る陸軍でも是等用字例を改正して國定教科書用字例に準據し、一段化する事となり從て教育總監部第二課で攻究中であつたが昭和出來上つたので二十四日以來新編用字例を各關係官衙、諸團體に配付參考意見を徵いた上更に推敲を重ね、愈々近く印刷配布する事となつた、改正の要旨は古き慣例により寧ろ時代に遊離するやうな從來の用字例を國定教科書用字例を參照して改正し一般的なものとして誤解を容易且つ正確ならしめ、壯丁及陸軍諸生徒の教育に便ならしむるにあるもので改正の主要點は左の如くである

一、句點半句點を附し文意の明瞭を期する爲打消と肯定との區別は文脈によつて判別する事になつて居たものを判然區別する事

二、送り假名を概ね國定教科書に一致せしめる事

三、國語のローマ字綴りは昭和十二年九月二十一日內閣訓令第三號による事

この結果陸軍典範令諸教範等は夫々改訂され、是からは壯丁等が入營後も從來の如き一種親しみ難い典令等の用語に惱まされる事がなくなり、學校から一貫した文章で軍隊教育を受けられる事になるから一層便利になる訳である

人事

▲丸野唯一氏(臺北州某所長) 二十五日夜行にて屏東へ、二十七日歸北の筈

▲黑木璽彥氏(臺灣自動車會社副會長) 二十六日來北(鐵道ホテル)

▲河原春作氏(前文部次官) 二十五日東部より歸北(鐵道ホテル) 二十七日內地へ

▲西澤義徵氏(合同興業常任監査役) 二十六日來北(鐵道ホテル) 二十七日內地へ

▲北澤忠男氏(名古屋高工教授) 二十五日東部より來北(鐵道ホテル) 二十七日內地へ

▲島田利吉氏(日本鑛業專務) 廿八日歸臺の由

▲高見一吉氏(臺灣運輸會社取締役) 廿七日富士丸にて歸臺

▲岩岡大雄氏(臺糖販賣係長) 內村總務部長依願退職に付總務部長代理を命ぜらる

無絃琴

上海へ行つてあの新戰場を一眼見た人々の直感は、何れも大正十二年の關東の大震災跡を見るやうだとの事これは十人が十人とも異口同音に語る所である▲そこで問題になるのは、アノ廣大な燒野原の復興土木工事の件だ、此の復興のためにはどの樣な計畫が今後進められるか知らぬが、關東大震災の跡始末でも復興債券まで發行し大騷りでやつた▲先ごろ上海からやつて來た或る人は"皇軍占據後の實際も手際よく行つてゐるし復興氣分も横溢して來ること必定だから、台灣などでも早く此點に着眼して先づ建築資金や材料を用意してアパートでも建てたらドウだ、差當り台灣土地建物會社など一肌ぬいだら如何"とケシかけてゐた▲この頃になつて台灣內でも"揚子江以南は台灣の領分"だなんて元氣の好い掛け声が聞える樣になり、上海の台銀支店などでも大いに其の意氣で頑張つてゐるさうだから、某君の勸告する"台灣の上海進出"なんかも、强ち駄法螺とのみ聽いてはいけない。

その日その日

○

聖上陛下 臨幸のもとに第七十二議會嚴かに開かる、"心の入れ替へられた議會"として、記錄的な場面の展開を期待する

○

國府の惡政を衝め、四億民衆の痛い所を癒して更に痒い所へ手を伸ばさうといふ臨時政府だ、人氣の惡からう筈なし

○

[illegible]

○

[illegible]かぬ所に皇軍の"重厚さ"を想ふ

○

一度び動けば、鐵網一擲、攻むれば忽ち破つて必ず取る、眞に有すべき陣容

○

あの調子で粛清が續いたら、最後に殘るものは、スターリン一人となりはしないか

○

パネー號事件に見る、[illegible]の公正振りをこの際に、兩國の[illegible]までの親善を增進させ度い

○

[illegible]

○

[illegible]が擡起して游かに通ずる、尤も怨と反感を持ちたがる國に對[illegible]

○

南京から蔣政權離脫の第一声、更に明朗化の要請は、北に南に響を擴げて行く

○

かくて"国民の覺醒"に[illegible]く明朗となつて來ると共に、[illegible]の[illegible]愈々固し

○

[illegible]

愛情の一群 (3)

村山知義 作

伊東顯 畫

奈落の物語 (三)

ここの女の子達は、みんな、多かれ少かれ、裕福でない家の子達だ。勤め先が淺草だからと云つて、その近所に引つ越して來るなどといふ自由はない。板橋から、大井から、馬込から、八王子から通つて來る。早く歸らなければ電車がなくなるだらう。オーヴァーは小脇に、帽子は右手に、化粧鞄は左手に、初め五六歩は脚を引きずるやうにして靴を履きながら、停留所さして駈けて行く。

だのに、悠々と一番遲れたその小さい少女は、最後に、ピーター・パンのやうな形の、眞紅なチロル帽を丁寧に頭にのせ、靜かな足音で階段を上つて行つた。

すると眞道は慌てて覗穴から顏をはなし、出來かかりの木枕と鑿を化粧台の下に突つ込み、帽子、マフラ、外套の類を一緒くたにかかへ込んで跳び出した。

眞道があとをつけて行く女の子は雜貨屋、小間物屋、牛肉屋の並ぶ狹い道から仲見世の裏通り、新雷門の停留所から今日もまた新橋行の青バスに乘つた。

これで五日續く。

南千住に住んでゐる筈の北村房江——が、どうして夜更けて新橋行で歸るのか?

もともと小說などを讀むことも、夢のやうな事を考へることも大嫌ひな眞道は、豐富な想像力などを持つてはゐない。この疑問はただ疑問として彼の腦に積み重ねられて、あてのない尾行に誘はれて行くのだ。

無遠慮に走り去る青バスの赤いテールを前方の夜風に吹かれて四邊見送つた。今夜彼は何かに衝き動かされて、次のバスに乘つて、[illegible]前方のガラスに貼りついたり、離れたり、近づいたり、退んだりしながら[illegible]心に向つて進んだ。

「おッ、と、と、と、と、待つた、どつこい」

[illegible]

江のあとから走り、その電車通りの物音から急に靜かになつた横町に響く自分の跫音に怯いで物陰に身をひそめた。

房江は高いビルディングにはいつた。

廻轉扉の横に篏め込んである銅板には「アパート[illegible]莊」と浮き彫りになつてゐる。そつとガラスを押しながら廻ると、ヒヤリとしたポーチには人影もなく、右手から上へ折れ曲つてゐる階段に足音もない。

ああ、エレヴエーターだつた。

正面の小さな暗い覆ひの中に、鐵の鎖が大蛇のやうに、ニョロニョロと垂れさがるのが見えた。數字盤の針が3、4でとまり、上の方でガシャリとエレヴエーターのドアの開いてしまる音がした。それきり針も動かなければ籠も降りて來ない。

眞道は立ちすくんでゐた。だが一刻を爭ふ。四階のどの部屋だかわからなくなつてしまふではないか。

思ひ切つてDOWNのボタンを押した。鐵の大蛇が上つて、小さなカラの籠が降りて來た。自動エレヴエーターだ。乘つたことがない。氣をいらだてて階段を驅け上つた。

廊下が一本長く伸び、その兩側に部屋がいくつも並んでゐる。その廊下に深緑色の絨氈が敷いてあるのは有難かつた。さうでなかつたら、一つ一つの戸口に立ちどまつて、名札を丁寧に見ることははばかられたらう。アパートとは云へ、眞道などが馴染のアパートとは違つて、立派なホテルのやうな豪華なものなのだ。

(き、き、北村房江！貴様はけしからん子供だぞ！あんな顏して、ふん、怪しい、底の知れん奴だぞ！)

階ごいからしてしらべて行く名札の一つの前で彼はびつくりして立ちどまつた。

(荒波[illegible]！あの有名な、舞台と[illegible]！あれがここに住んでゐるのか)

Ideal Ideal Ideal Ideal Ideal Ideal Ideal Ideal Ideal Ideal

アイデアル 特製 煉白粉

お正月用に
買つて 歸つて
即座に 使へる
工夫も 技術も
何も 要らない

先づ 白粉下が要りません
分量は今迄の1/2位を水に溶き
クリームでも引く氣輕さでお顏
に伸す 後を刷毛か濡れタオル
で落ちつける

固煉などよりズッと濃く
つきますが、白粉の量は
少いので所謂壁化粧の固
さ冷さがありません

特大(新發賣) 一圓
普通 五十錢
(共に白・肌二色)

本品の後に濃く強くつく白粉をゴシ／＼摩すと、肌を痛めます。アイデアル クレンジング クリーム(新發賣)を白粉の上に伸し拭きとれば綺麗に落ちます

東京・高橋東洋堂

IDEAL
IDEAL OSHIROI

軍務御精勵の傍ら 畏し將兵に御心遣ひ
朝香宮殿下御附武官 等々力大尉の謹話

【南京廿五日發同盟】朝香中將宮殿下には金枝玉葉の御身をもつて親しく三軍を御統率、馬を江南の野に進めさせ給ひ敵都南京攻略の御偉勳をお建て遊ばされ天晴れ將帥としての御器量を遺憾なく發揮遊ばされた、天資英勇武に渡らせらるゝ殿下には自ら持せらるゝこと極めて嚴なる半面部下に對する深き思ひやりに至つては將兵一同感激措く能はざる所で御附武官等々力大尉は二十四日殿下の御日常に就き左の如く御謹話申上げた

殿下には申すも畏き極みであるが誠に軍務に御熱心にて御食事中たると御就寢中たるとを問はず幕僚より軍務を御報告申上ぐれば詳細これを御聽取、種々御下問を拜する、部下將兵に對する御慈愛は申すも畏いことながら將校、兵は勿論軍馬にまで及び死傷者に對して常にお憐みの御模樣を拜する、御一例をとれば南京占領は殿下にかゝせられても非常なお喜びであらせられたにも拘らず『唯喜んでばかり居る秋ではない』と仰せられ早速各野戰病院を御巡視の上將兵に對し畏くも一々御慰問を賜はりました

今樣鹽原多助

"栗毛よ立派に働け" 愛馬に切々激勵の書
部隊長以下純情に感激す

【東京二十五日發本社特電】長い間、家族同樣に愛育してゐて〇〇された軍馬に寄せた切々の手紙が二十五日陸軍省新聞班に報告されて來たがこの飼主は北海道空知郡美唄町一二〇倉本留藏君で二年間子供のやうに飼育して來た愛馬石徳號が〇〇されてからは、とうとう矢も楯もたまらなくなり石徳號の從つてゐる〇〇部隊長宛に

「一日も早く調教を終へて一人前の軍馬として出征出來ることを心から祈つてゐます若し出征の後戰死又は戰傷の時は御手數ながら御知らせ下さるやう無理にも御願ひ申し上げます」

との眞心こめた手紙に次の如き石徳號慰問文を添へて來たものであつた

栗毛よお前と〇〇〇のホームで別れてからは毎日お前の丈夫で一人前の軍馬となることを祈つてゐる、私らも丈夫で毎日稼業に努めてゐるから安心して呉れ二年間私と共に雨の日も風の日も暮して來たお前は澤山の田や畑を耕作して呉れた、お前本年は近年にない豐作で家内一同喜んでをる唯お前に新米を喰はせずに別れたことが殘念で毎日のやうに話してお前の寫眞を見てゐる、前の榮光號、ストーム號の二頭も軍馬として働いてゐると思ふがお前も立派な軍馬となり御國の爲めに働いて呉れ北海道は雪が降つて寒くなつた、何分にも氣候の變る場所だから十分體に氣をつけて一生懸命に努めてお呉れ、お前の國産馬共進會一等賞は家の寶としていつまでも傳へよう、それでは左樣なら

雨中を慰問
出征軍人後援會で

【基隆電話】基隆市の出征軍人遺家族後援會では日曜日にも拘らず二十六日午前九時から市助役を始め係員總出で本年最後の遺家族慰問を爲すべく夫々手分けして慌しい歲末の陰雨の中を懇に慰問して歩いた

軍馬慰問の藁を獻納
臺北市大直部落民が

臺北市大直部落民は軍馬を慰問のため藁一万二千斤をリヤーカー三十二臺に積んで山砲兵聯隊を訪れた、寫眞上は聯隊幹部と部落民、下は運ばれた藁（總督府許可濟）

白衣の百七勇士 あす〇〇に凱旋
驛着は午後四時五十分

二十七日基隆入港の瑞穗丸で凱旋する佐藤部隊傘下の白衣の勇士百七名は同日四時十分基隆發、同五十分〇〇驛着列車で歸着し、直ちに陸軍病院に入る

新政府の五色旗
橫濱に初入港

【橫濱二十六日發同盟】北支新政府の國旗が五色も鮮かに橫濱港にデビューした、二十五日大連から大豆その他特産物四千噸を滿載して入港した支那貨物船順興號（三千八十噸）の船尾に新國旗がはたはたと閃き急々國際的に乘り出したのである

取調べを受けた小學教員四百餘人
縣視學二名を起訴、十名は猶豫
沖繩縣下の瀆職事件

【那覇本社特置員發】沖繩縣下における小學校教員並に縣視學に係る瀆職事件は那覇地方裁判所檢事局において記事掲載禁止を命じ取調べ中の處廿四日午後六時を期し解禁となつた、事件の大要は小學校長並に教員の任命、配置、轉任に伴ふ教員と縣視學の間に行はれた贈收賄で召喚取調べを受けた教員總數四百餘人の廣範圍に亙り本縣初等教育界全體の震駭を呈し頗る憂慮されてゐたが取調べの結果は賄的物品の賄賂はそれを取り上げず現金並に商品券五円以上を取上げ事件の處斷に臨んだ結果縣視學二名を起訴、起訴猶豫は十名他は不起訴處分に附した

起訴された者は沖繩縣縣視學島元清秀（四五）、元沖繩縣縣視學現那覇市泊尋常小學校長渡嘉敷綏長（四〇）兩氏で那覇市視學大城元長、元縣視學現中頭郡具志川尋常高等小學校長石川浩、縣視學仲里松吉三氏と贈賄者側小學校長教員七名は起訴猶豫の恩典に浴した、取調べを受けた教員中行政處分により退職を受ける者も相當ある模樣でこの機會に於て初等教育界に活を入れ大刷新異動を斷行する模樣である、尚起訴猶豫になつた者は同時に自發的に退職をなした

---

①

②

③

慈父の如き皇軍勇士

（1）支那避難民を施療する我が〇〇隊（2）支那避難民に菓子を與へる兵隊さん（3）皇軍の慈愛に喜び滿ちて萬歲を叫ぶ支那良民（陸軍省檢閲濟）

インテリ力士の笠置山が結婚
花嫁は常陸山の孫娘

【東京二十六日發本社特電】晴れの春場所を前にインテリ力士笠置山こと仲村勘治君（二七）にお目出度話が決まつた花嫁は往年不世出の名力士と謳はれた常陸山關の孫娘名古屋東武平町四丁目同市金城女專卒の村田すみ子さん（二二）である來春早々名古屋醫大勝沼教授の媒妁で華燭の典を擧げる事になつた此の結婚は祖父の緣で知り合つた二人の甘いロマンスが目出度く結實した譯でインテリ力士として人氣の絶頂にある笠置山の奇緣に結ばれたこのお目出度話は角力界に朗かな話題を投げてゐる、笠置山を訪ふと照れて

未だ正式に決定した譯ではありません、すみ子さんは常陸山さんの緣故で以前からお交際願つてゐる方です、然し本當に未だ決つた譯でなくどうも弱りましたな

と大いにはにかんでゐる

（寫眞は笠置山）

すみ子さんは金城女專出身
負けずにインテリ

【名古屋二十六日發本社特電】笠置山と結婚する事となつたすみ子さんは金城女專卒業後正金銀行名古屋支店に勤めてゐたが、話が決まつてから家庭に在つて專ら未來の橫綱の妻としての修業を勵んでゐる美しい娘さんだ武平町の自宅で語る

一月半ば名古屋で式を擧げ結婚後、暫くは此方で家を持つ事になつてゐます、笠置山さんは時時見えます

あすの天氣

臺北地方　東の疾風曇
北部地方　北東の疾風曇時々雨
東部地方　北の疾風曇
西部地方　北の疾風曇
南部地方　北の疾風曇一時晴

概況（廿六日）七七八粍の高氣壓は蒙古方面にあり南東に移動し七四〇粍の低氣壓はオホーツク海にあり北東に進む模樣本島は概ね曇近海は北東の疾風並波はやや高目であります

各地溫度（廿六日）

恒春	二二・八	臺中	二二・四
臺東	二二・七	臺北	一八・四
高雄	二二・九	基隆	一五・七
臺南	二二・〇	那覇	一六・六
澎湖	一九・七	鹿兒島	九・二
阿里山	一〇・九	長崎	三・九
花蓮港	一九・六	石垣島	一九・五

今晩の映畫

◇國際館（夜七時三十分上映）
1 君を夢みて　午後六時四分
2 おもかげ　八時七分
3 朝日ニユース 東日ニユース 南京陷落號外　九時三分

◇新世界館（夜十二時半上映）
1 神州白馬隊　午後七時〇分
2 パ社世界ニユース 日支事變ニユース　七時四二分
3 田宮坊太郎・　七時五五分
4 水戸黄門漫遊記　九時五分

◇タイゲキ（夜十二時半上映）
1 一人息子　午後六時三五分
2 東日ニユース 大每大朝ニユース　七時四〇分
3 若き頃　八時二五分

◇大世界館（夜十二時半上映）
1 東日パ社ニユース　午後七時〇分
2 支那事變の特報　七時一七分
3 報國の[illegible]　七時三七分
4 遊俠太平記　八時二二分
5 夢[illegible]　九時四分

◇芳乃館（夜十二時半上映）
1 現代劇[illegible]　午後六時四分
2 [illegible]ニユース 大每國際ニユース　七時五五分
3 [illegible]無宿系圖　八時二〇分
4 [illegible]無宿系圖　九時三〇分

咳 烈しく出る が胸が痛む 痰も少しある そんな時は ゴリヤウ 護療

會葬御禮　島名みつ
[illegible]

御禮
本日故顧問平山寅次郎殿逝弔式相營み申候節は遠路態々御參列を辱ふし感謝に不堪厚く御禮申上候
昭和十二年十二月廿六日
臺灣製糖株式會社

誰もが好く道中ぶしの快味！
「流轉」「妻戀」以上の傑作
阿部武雄曲・藤田まさと詞
鴛鴦道中
上原敏 青葉笙子
レコード界のをしどりコンビが最初のヒツト！
PO-6
ポリドール流行歌

リウマチス 神經痛に
アトファン
嚴寒期は痛疾の再發する時…リウマチスの治療にはアトファンが賞用されます。
錐でもむやうな痛みも快よく解消し、腫れも去り運動や、歩行が自由になります。
定價 二〇錠二・五〇 特製二五瓦五・〇〇
大阪・東京 田邊商店

愛國流行歌
南京陷落
勝つた〳〵全日本に渦巻くこの凱歌
高千穂武夫 內本實
（一枚一円十錢）
B-1
タイヘイレコード

上海凱旋歌
同胞の歡喜がこの一枚に！
美ち奴・唄 古賀政男・曲
テイチク 愛國レコード

Columbia
正月戰勝譜
（十二月十五日一齊發賣）
皇軍入城 伊藤久男 霧島昇 コロムビア合唱團 レコード番號二九六二〇
ああ決死隊 松平晃 伊藤久男 霧島昇
南京陷落 松平晃 佐々木章 伊藤久男 ミス・コロムビア 霧島昇 二葉あき子 レコード番號二九六二五
戰線への便り
露營の歌（大每・東日懸賞當選歌）（新興映畫化） 中野忠晴 霧島昇 松平晃 伊藤久男 佐々木章 レコード番號二九五三〇
君は戰線 霧島昇
夜船の夢 音丸 レコード番號二九六一七
舞踊小唄名曲集
國史の童謡 日本歷史歌繪卷 申込みは即刻
バッハのオルガン音樂 第一輯 アルバート・シュヴァイツァー
モーツアルト プラーグ交響曲 ブルーノ・ワルター
輕音樂選
ベートーヴェン 月光奏鳴曲
ラッキー・スウング・アルバム
ラッキーレコード
コロムビアレコード

贈れ！國産優秀飲料

この中から選べ！何れも立派な進物だ

サントリーウヰスキー

SUNTORY WHISKY
Suntory
Fully Matured
SUNTORY

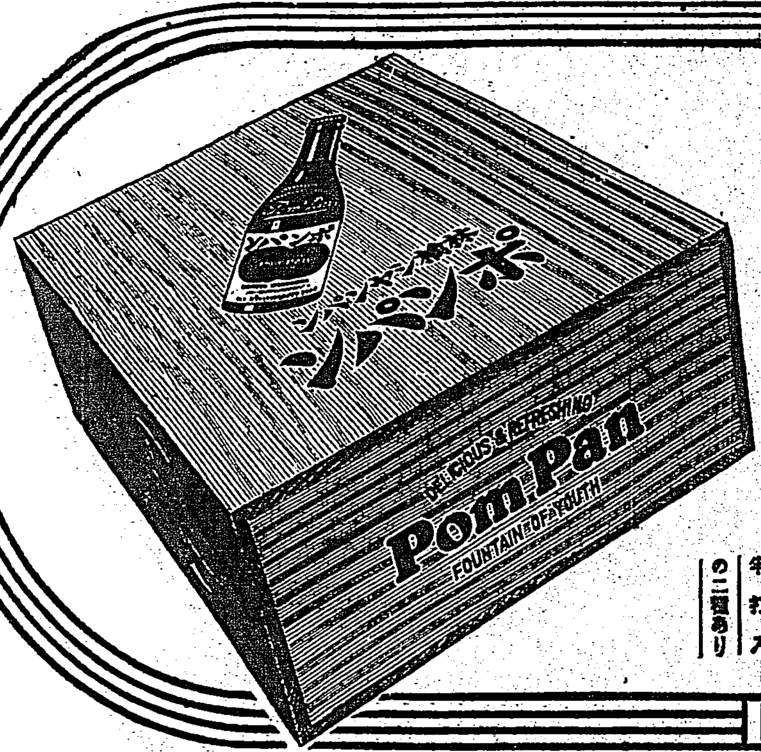
七年貯藏丸瓶サントリー

十年貯藏角瓶サントリー

十二年貯藏オールド・サントリー

國産中　たゞ一つの純正本格ウヰスキーです　釀造後じつに七年乃至十二年の長きにわたつて貯藏熟成せしめたもので　品質香味　醇乎として醇！　醉趣高逸！　如何なる舶來ウヰスキーに比するも斷じて遜色はありません　御進物としてまことに風格堂々たる逸品！

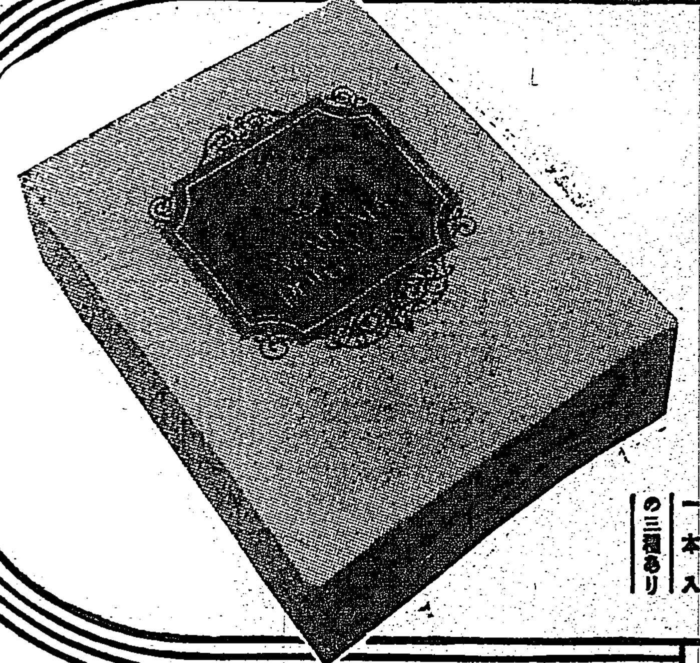
林檎シャンパン　ポンパン


ポンパン
Pom Pan
FOUNTAIN OF YOUTH

新鮮な林檎から釀造したシャンパンです　シャンパンは古來　慶祝飲料として賞用されてゐるもの　先様の緣起を祝ふ意味に於て絶好の贈物！　しかも飲心地　醉心地　共にたとへやうもなく明朗快適！　そのうへ榮養價著大！　日用酒としても歡迎されるものです

木製化粧箱
一打入
半打入
の二種あり

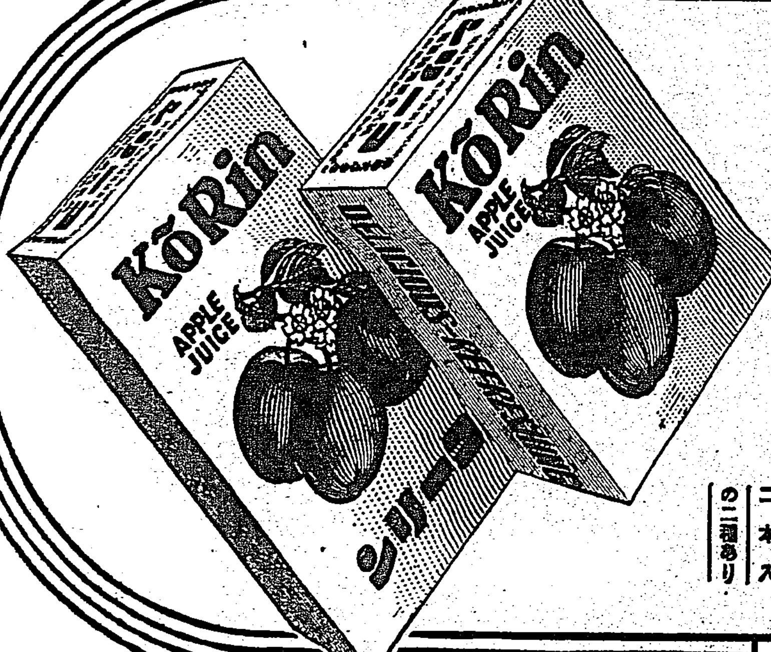
赤玉ポートワイン



良質葡萄酒として既に定評のある品です　貴重な滋養素を幾多保有してをり　身体強壯の効果極めて卓拔！　先様の健康を祈る意味に於て好個の贈物です　しかもその味　實に甘美にして　よく御老人・御婦人のお口にも合ひ　一家御一同から嬉ばれる品です

三本入
二本入
一本入
の三種あり

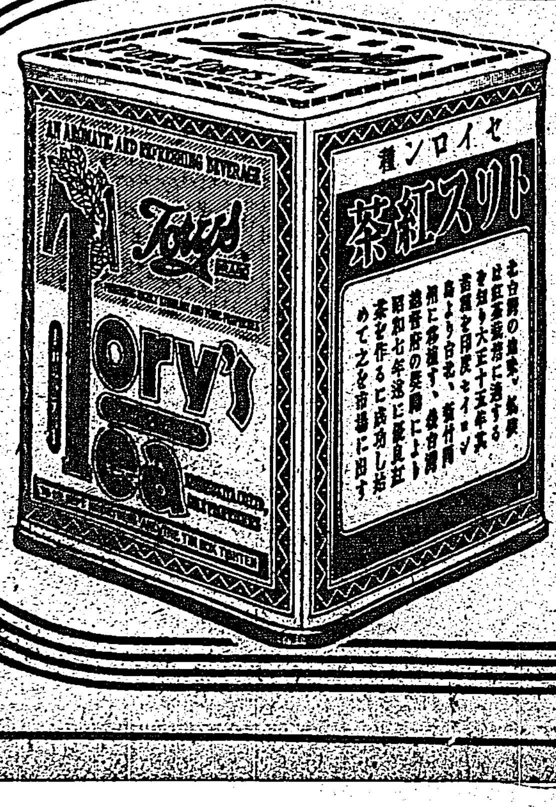
純粋林檎汁　コーリン


KōRin
APPLE JUICE
コーリン

眞赤に熟した新鮮な林檎三十五個分の汁を一瓶に濃縮したものです　水又は湯で約六倍に薄めて召上ります　即ち一本が六本になる御進物！　しかも血色をよくする効果に優れてをり　なほ風味は爽快で誰方のお口にも合ひますが特にお子達のおやつとして喜ばれます

木製化粧箱
三本入
二本入
の二種あり

トリス紅茶


Tory's Tea
トリス紅茶
セイロン種

茶樹栽培の適地―臺灣の沃地に育てた茶樹の若葉を摘んで精製したものです　色…味…香り…總て明朗　紅茶の良さを十二分に備へた逸品　舶來紅茶に劣りません　飲物　團欒の飲物　來客への飲物等として近代家庭の必需品です　よい紅茶は贈つて必ず重寶されます

一封度入
半封度入
四半封度入
の三種あり

國定忠次 (142)

長谷川伸作
岩田專太郎畫

提燈攻め（七）

（次上演）

頑鉄は大に憤つてゐる、今夜こそ、民五郎と小助の敵がとれると思ひの他、むざむざ、生捕つた敵を無事に帰らせたのが、腹が立つて癪に觸つてならない、喜久松の提灯まで引ッ手繰つて踏毀しかけてゐると、文殿が背中を叩き、

「頑め、親分が呼んでなさる」

「おら返事しねえ、どうも最初から変だと思つた。こんな喧嘩が世の中にあるか、子供の遊び事だつてもッと立派に殴りあうだ」

「頑鉄ッ！」

「そら又呼んでなさる。手前、親分に楯をつくのか」

「さうではねえだ」

「そんなら親分の前へ行け」

「行くだ、あお行くとも——親分何だね」

「お前に用がある、俺と一緒に歩け。喜久や、來てゐるか。駒、駒。はッ、お前も來てゐたか。二人はな、俺と鉄が話をしながら歩くから、用が出來たら声をかける」

「へい」

「文殿、鉄。二人はみんなと一緒にずッと離れて歩いてくれ。さあ鉄、歩け」

「へえ」

「提燈なんぞ燃して子供みてえな事をするな、みんなに馬鹿にされるぞ」

「提燈でも燃さねでは今夜はみられねえです。一體、どうする氣だ親分は」

「今、話すから聞け。なあ頑鉄、俺は京殿も千馬も今夜のことで故つて置くから、後はお前が好きなやうにしろ」

「えッ、本當か親分、おらがあいつ等をやつてもいいか」

「更つて置く奴があるか。そこに松の木が三本あるだらう」

「畑の中のか親分」

「あの松のうしろに成松を連れてきてある。お前と、喜久松と、それから駒奴と三人で、玉村へこれから行つてみるか」

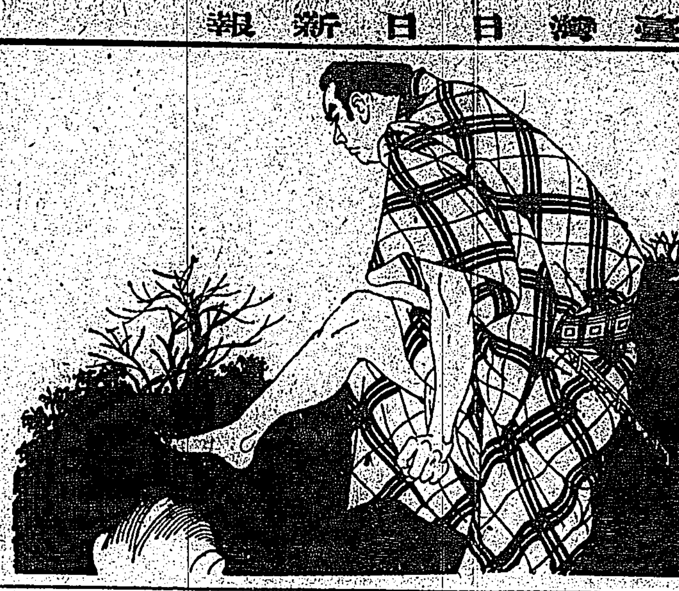
「あお行くだ。喜久松にそのこと云つてこよう」

「喜久は知つてゐる」

「えッ。それだら知られえのおら一人か」

「気に入らねえなら他の者を代りにやつてもいい」

「いや、さうでねえ、気に入つただ」



「鉄、玉村で用がすんだら大前田さんの処へ行け、それから三人で相談して旅をするなり、大前田さんの翼の下に、休んでゐるなりしろ」

頑鉄と駒奴、喜久松の三人は、畑の中の三本松近くで、忠次に別れを告げた、と、文殿が駆けてきて、

「旅装束だ、兵糧も水筒も三人前へえつてゐる、路用の金も三包」

それを受取つてゐる三人に、忠次が、

「大前田村からたよりをしろ、たよりをしてから出ろ——ぢやあ、別れる。気をつけてくれ。丈夫でゐろ。二年とは放れさせて置かねえぞ」

忠次のうしろ姿を見送らうとすると、身内の者が次々に別れの言葉をかける。それに頑鉄だけは取合はず、忠次の姿を背のびして見送つてゐる。駒奴が、

「頑鉄さん、成松のゐる処へ行かう」

「待つた、まだ親分の姿がみえるだ」

「ぢや、俺と喜久松とで先へ行くよ」

「勝手にしろ。二人共、薄情なのだ。親分の姿のみえるうちに、ここが動けるか——あああもういかねえ、もうはア何としても親分がみえねえ」

忠次の姿が眼から去ると、頑鉄は、俯向いてほろりと涙を落とし、そこに突ッたつたままになつた。叱られる度に可愛がられてゐることが、身に泌み入つてゐる頑鉄である。

「鉄さん」

「あお吃驚した、何でえ、出し抜けに」

松の木の裏から駆けてきたのは喜久松だ、血相がちと変つてゐる

「成松はね、眼が醉けてゐるよ、舌を嚙んで——詰り、もう死んじやつてゐるんだ」

「そらいかねえ」

慌てて頑鉄は駆け付けたが、手の下しやうがない。

その翌朝、この辺の農家の人が、朝霧のはれた後に、身許の判らぬ男が、舌切り自殺を遂げてゐるのを發見した。

サーカスの裏面を探る

近着の外紙から

サーカス！ これは、あの華やかなサーカスの裏面話である、表面が明るく華やかであるだけに、暗い陰氣な物語りである

或る夜のこと、パリーの或るホテルの一室を叩く音がした、その部屋の人は、こんな時間に訪れる人がある筈はないし、これはきつと醉拂ひだらうと思つて、暫らく戸をたたくままにして置いた

◇

処が、戸を叩く音はいつまでも止まず、そのうちに、何かぶつぶついひ出したので何事だらうとあやしみながら戸を開いて見ると、そこに一人の男が倒れてゐた、手足が変な恰好に捩れたままになつてゐた

「私は近くの曲藝師なんですが」と其男は息も絶え絶えにいつた。「手足がどうしてもほどけなくなつたんです」

さういつて、その男は人事不省に陥つてしまつた

驚いたその人は、人を多勢呼んで、やつとその男の手足をほどいてやつた、するとその男がやつと起き上りながらいふことには

「さあ、もう一遍、やつて見よう！」

その男といふのは、有名な軟體男のチニスターキングストンだつたのである、彼が軟業をはじめた頃の話である

◇

彼は一人で練習をやつた、幾多の困難の後にやつと一つの技能な藝をつくり出すことに成功したのである、処が、そのために無理に捩つた手足がほどけなくなつて了つたのである、どうしてホテルの部屋までたどりつくことができたのであるかに就いては彼はちつとも記憶がなかつた

×

「獅子なんて小手みたいなもんですよ、ちつとも怖くはありませんから觸つてごらんなさい」と名高い猛獸使ひのシュナイダーがいふ、それではといふので右手を出さうとすると

「左手、左手！」と注意される

左手で觸るなどといふのは、サーカスによくある迷信ではないかと思つてシュナイダーにそのわけを聞くと、

「ひよつと嚙みつかれることがあつても、左手ならまだ右手よりましぢやありませんか」

と彼は答へた、如何に慣れたるものといへども、以て猛獸の恐るべきかが知れるではないか

×

次に、十五歳の少年が猛獸使ひの練習をする所を紹介して見よう

少年は鋭く尖つた三叉を左手に、安樂椅子を右手に持つ、さうして帯には鞭とピストルとを挾んでゐるのである

かういふいでたちで、少年は猛獸の檻に入る、猛獸はいつもの主人と違つた人が入つて來たので、怒つて吼える、さうして跳びかからうとする、すると少年は安樂椅子を猛獸の脚の下に投げ込んでその氣持をくじくのである、椅子から脚を抜かうとするのを三叉で邪魔をして、これは強い人だと思はせるのである、これが巧く行けば、まづ成功である

×

シュナイダーは六十何匹かの猛獸をすべてこなせる、二十何台かのトラックに積んで移動するこの曲藝團の價値は八百万フランと踏まれてゐる、シュナイダーはまたライズチッヒの近くで「獅子の育て方」を教へて、これでも多額の金を儲けてゐる

シュナイダーは立派な、識和な人である、彼にあまり興行に出るやうに忠告することは考へ物である、といふのは、いつかスタデオで興行を撮らうとした時一匹のライオンが躍り出して人を嚙ひ殺したことがあつたからである

×

興行でおなじみのフラテリニ兄弟！ この兄弟達とても楽に育つたのではない

ポールは五歳で、アルベールは四歳で、そしてフランソアは六歳でいづれも獸術を始めたのである

それ以後といふもの、彼等はあらゆる種類の曲藝を習つた、本當の道化といふものは凡ての曲藝を知つて居らねばならないのである

◇

先づ四歳位で、體ならし、體がゴムのやうになると、ぶらんこ等を習ふ、いづれも危險なことである、フランソアは鞦馬で、ぶらんこから落ちて、舌を嚙みくだいたことがあつた、幸ひに父親に醫者心があつたので、大事なく終つたが……

それから彼等は曲馬師、手品師、ローラー・スケーターとあらゆる藝を憶えた。彼等の腕は必らず毎日練習しないと駄目になる、一週間も練習を休むと、何年間かの練習だけ後戻りするといふ事である

曲藝師には犧牲者が多い、フランス丈でも數へ切れない位である

エミール・ロレンツオ、ガブダン兄弟、ローリ・ローリ等はその中でも有名である

華やかなサーカス！ だが華やかなのはその表面だけである、何十年の修練を積んだ藝でも人に見せる時間はほんの十分か十五分位のものである、若しちよつと不注意でもあつて、怪我でもしやうものなら、それこそおしまひなのである、華やかなだけに裏面は暗いのである。

[illegible]

譯者 魏清德

[illegible]八首寄呈[illegible]六君子並東在座諸詞長

[illegible] 莊玉坡

[illegible]

其 二

[illegible]

其 三

[illegible]

其 四

[illegible]

其 五

[illegible]

其 六

[illegible]

其 七

[illegible]川、[illegible]田、柚木諸先生

[illegible]

其 八

[illegible]

臺日案内

料金
三回 五回 七回 十回 十五回以上 十行一回 [illegible]

書籍
最近支那大地圖 價七十錢 送料二十錢 臺北榮町一 振替臺灣二 新高堂書店
最新化學工業品製造法 五百頁 價三圓 臺北太平町三 振替二九七〇 日光堂

內地土產
ポンカンと白柚 臺北市榮町 桐田商會 電3353

蓄音器
新古洋樂レコード賣買 臺北千歳町 河合樂器 電話參〇番六

寫眞
寫眞機と材料 御用の方は 臺北市榮町四 西尾商會
カメラと材料 フタバ寫眞機部 臺北市榮町二 電話七〇〇貳番
寫眞機と材料定價表無料進呈 臺中市錦町三 東郷堂

時計眼鏡
メガネ專門日光堂 臺北市表町二ノ一〇 電四九五七番
小川メガネ店 榮町三 菊元向通

料理屋
生そば壽司 辨金京町店 電六四參九番

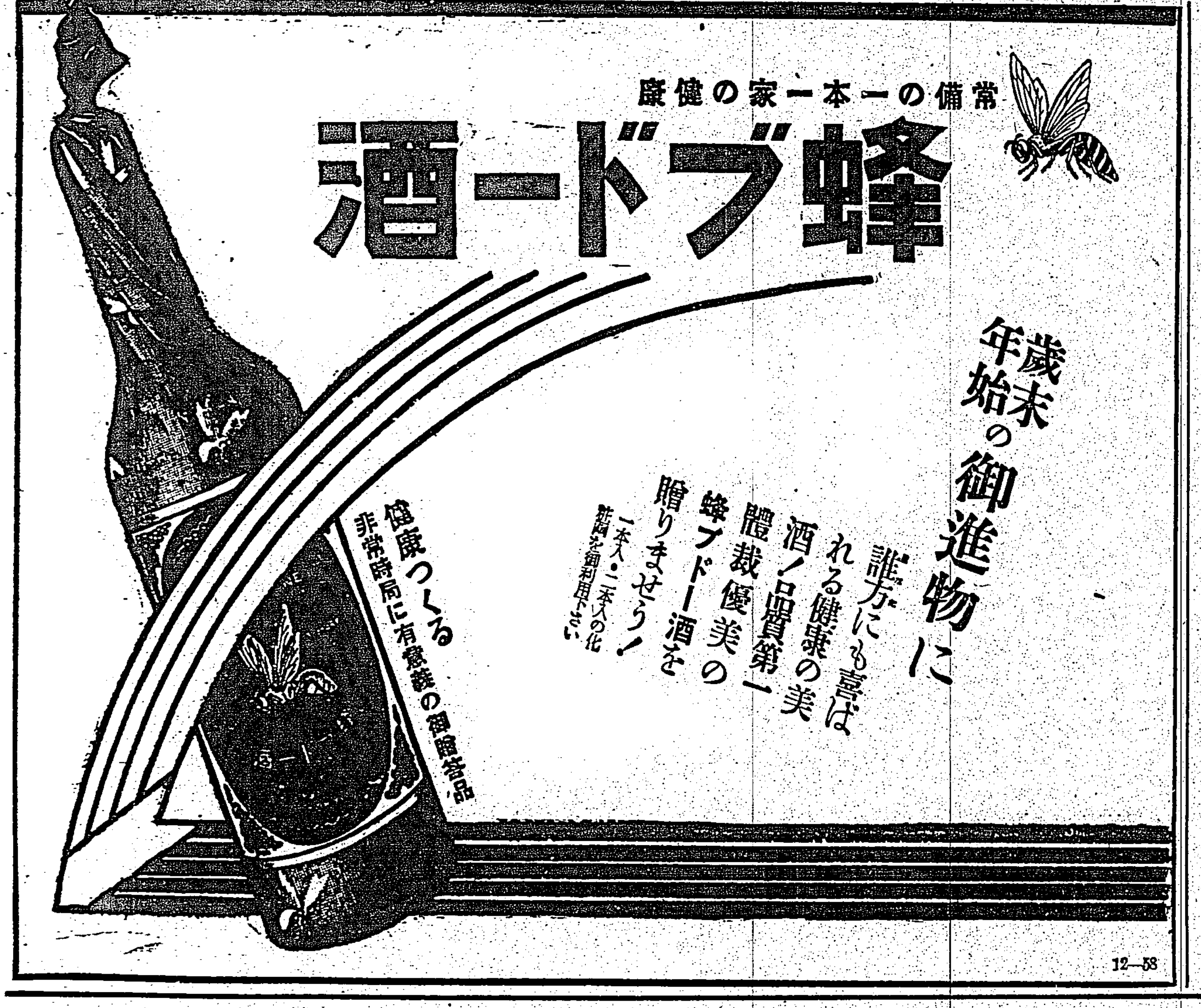
金融
商品券高價買入 三成社 月賦電話及金融御取扱 電五六貳六
金融 電話[illegible]物管理[illegible] 大場外科裏 臺北市京町二ノ一七 電五參九六番 [illegible]商會
商品券・債券電話賣買入 臺北郵便局前 電二六二九 大盛證券

洋服
新着子供服 臺北日進マーケット
贈答品なら稻田の昭和服を 臺北京町・基隆義重町・臺南銀座通・高雄銀座
鐵道部特約店 チトセ洋服店 臺北市大和町 電二四七二番

藥種商
喘息にはワンカ 服んで良く效く 臺北市榮町四ノ一二 發賣元森田[illegible]
吸入用酸素 電四九六七 臺北市第2世界館前 中央藥局

ラヂオ器械
ラヂオ・蓄音器 月賦販賣 兒玉町末廣商會 電貳參四參
ラヂオは中川 年末特價 臺北本町四丁目角 電二二四六

雜件
組立式の文化卓子椅子 型録進呈 臺北榮町 日本樂器
風味の良い平戸の摺味噌
實用向家具 服部商會 他各種 京町三丁目 電貳五〇參 杉本家具
アパート 和室多數、閑靜 市バス大学官舎前 昭和莊 電四七六九
非常時・非常時の折柄 儀式用貸衣裳 阿部 電5285
御調髪は新築の國武へ 東門町一條大通り 國武美容院
屏風卸小賣 末廣町二 電四二九〇 高見表具店
通信教授 バイオリン尺八 ギター マンドリン ハーモニカ 三味線、以上各科規則書進呈す 福岡市中島貳 大日本家庭音樂會
ハギレ卸（商報進呈）◎◎人絹、朱子、四溴、絹ポプリン、友仙毛斯綸、金巾、ネル（商報小賣開業者歡迎 御指導仕候）大阪市南區瓦屋町東 津村合資會社 電話南四八九番 振替大阪參八參番
眞珠 無代 宣傳の為見本進呈 [illegible]



常備の一本一家の健康

蜂ブドー酒

歳末年始の御進物に

誰方にも喜ばれる健康の美酒！品質第一 體裁優美の蜂ブドー酒を贈りませう！

一本入・二本入の化粧箱を御利用下さい

健康つくる 非常時局に有意義の御贈答品

12—58

●頭の痛みと疲れにノーシン●

柳韓洋行が治淋劑を大衆に宣傳販賣せざる理由

柳韓洋行は從來治淋劑を醫院又は醫師には宣傳もし紹介もして來ました。其れは醫師諸賢に於て各自の專門的見解に從ひ適當に內外科的治療に應用して或る程度の效果を擧げ得るものと信じたからであります。

然し一般大衆には新聞雜誌業の廣告を利用して治淋劑を直接宣傳販賣した例は未だ曾つてありませんでした。

其の理由は世間に餘りにも種々雜多の治淋劑輩出し競つて已れが特效名藥なることを宣傳してゐるも實際的效果より見たる治療統計上に於ては何等優秀なる治癒率を示さないのみか又概して信を措くに足るものなかつた爲めに敢えて柳韓洋行が一般大衆に特效劑なりと僞宣傳をなすことは出來なかつたためであります。

一方柳韓洋行は其の社是とするところの【自身に信實にして民衆に誠實而も信用を生命とする精神】に基き一般大衆にも自信を以て紹介し得る治淋劑の出現を見ず今日まで益々蔓延するこの憎惡すべき社會病の治療困難に日夜只管焦慮しつゝあつたのでありました。

然るに最近G－U－サイドなるものが全世界醫學界に慧星の如く出現し斯界權威大學教授等に依り淋疾患者に實地應用した結果其の治療效果十中八九（80－90%）と云ふ驚くべき成績を擧げたる權威ある臨床報告が數次發表され斯界に一大センセイションを惹起しました。

この報告に接するや柳韓洋行は我が社會の淋疾受難者の爲めに又日頃提唱の民衆保健の爲めに過般來之れが入荷に就き一般に豫告するところありましたが最近遂に入荷しました

輸入發賣元 株式會社 柳韓洋行
京城府西大門町二ノ七
大連市駿河町一九
上海圓明園路一六九號

全國百貨店 化粧品店・藥店ニアリ

生氣に滿てる榮養の若肌

タンゴドーラン

寒風も恐れぬ 美と魅力の近代化粧料

榮養の自然美化粧

お肌に一番悪い乾き切つた寒風が街に貴女の頰に手に遠慮なく吹きつけて來ました。お肌は健康でせうか、一寸の御手入れ不足でお肌は荒れてカサ〳〵になります。荒肌を癒し豫防するには常に榮養の補給をして皮下組織の新陳代謝を旺盛にしなければなりません。

輝かしき健康の若肌

素晴らしき榮養のタンゴドーランはクリームと白粉と化粧水との三美肌素綜合科學製品で、適確なる榮養は直接皮下に侵み込み、お肌は生々となり皮膚細胞の活動は新陳代謝の旺盛に働きかけ、小ジワ荒肌を一掃しお肌に輝きの自然美を生み冷寒にも健康を誇る唯一の瞬間化粧料です。

TANGODOHRAN
お顔の色に應じ一層美しくなる七色
一般の御婦人には…肌色
色白いお方には…白色
色蒼いお方には…淡紅色
白くないお方には…[illegible]色
色蒼白いお方には…[illegible]色
色の赤いお方には…新鮮色
尖端的な美容には…明朗色
[illegible]

風鳥メール本舗・株式會社・宇野達之助商會・大阪・東京

臺灣日日新報
本日夕刊共二十頁
編輯兼發行人 佐々木[illegible]
發行所 臺北市榮町四丁目卅二番地 臺灣日日新報社
本紙定價 一部六錢・一ヶ月前金壹圓五拾錢・三ヶ月同四圓貳拾錢・六ヶ月同八圓・壹ヶ年同金拾五圓（日本國内及支那滿洲送料不要）
廣告料 普通欄一行十五字詰 壹圓 特別一行 同 壹圓五拾錢 記事欄込一行 同 貳圓
振替貯金口座臺灣第一〇私書函臺北三番
電話 編輯二三〇二・二八二六 營業代表五八〇一 廣告用五八〇三・二四八三 電信略號「タヒ」

米國政府より幸福なる報告

友好精神に依り パネー號事件解決

【東京二十六日發同盟】我が外務當局は二十六日午後五時左の通り外務當局談を發表した

十二月二十六日午前十一時三十分駐日グルー米國大使は廣田外相を來訪し本日は幸福なる御報告をなす爲め參上せりと挨拶したる後、米國政府の對日通牒の大體を讀み上げたる後右通牒を手交せり、最後に記載された「米政府は日本政府の執りたる措置が今後支那に在る米國民及び米國の利益並に財産に對する日本官憲若くは軍隊の攻勢乃至不法干渉を阻止する上に效果あることが證明されんことを切望する」旨を申述べた

之に對し廣田外相は今次事件に對し米國政府の示したる態度及び駐日グルー大使の盡力に對し深甚なる謝意を表示する所ありたり尚「斯かる不祥事の發生したる事は遺憾に堪へないが兩國の友好的精神に依り茲に解決に至つた事は慶賀の至りである」

米國の對日通牒

【東京二十六日發同盟】米國政府對日通牒大略左の通り

十二月二十六日付駐日米大使發廣田外相宛公文（他略）以て陳者本使は本國政府の訓令に基き閣下に向つて左記の通り申し通ずるの光榮を有し候

合衆國政府は米國砲艦パネー號及び米國商船三隻に對する日本軍の攻撃に關し十二月十四日付米國政府公文同日付日本政府公文及び十二月廿四日付日本政府公文に言及致し候

米國政府の十二月十四日付公文にて合衆國政府は日本政府に對し正式書面に依る遺憾の意の表明方並びに充分なる賠償の支拂及び今後支那に在る米國民權利及び財産が日本武裝軍の攻撃を受けず又一切の日本官憲若くは日本軍に依り不法なる干渉を受けざることを保障すべき決定的且つ特定的措置が執られたりとの保證を要求且つ期待する旨聲明致置候

合衆國政府に依り爲されたる要求中最初の二項目に關しては十二月二十四日付日本政府公文は「米國軍艦及び汽船に損害を與へその乘員に死傷者を生ぜしむるに至りたるは帝國政府の深く遺憾とする所にして茲に厚く陳謝の意を表する」旨御申越しありたる十二月十四日付日本政府公文中の聲明を再び確認せられるものに有之候

合衆國政府に依り爲されたる要求の第三項目に對しては日本政府公文の字句に依れば「米國其他第三國の權益財産を攻撃し又は不法なる干渉を加ふべからざること」を保障する爲め日本政府が既に執られたる成嚴の決定的且つ特定的措置を敍述し「日本政府は此種過誤の絶無を期したる次第に有之候」旨聲明致され候

合衆國政府は日本政府が同政府の十二月十四日付公文にて責任を容認し遺憾を表明し且つ保障の御申し出で相成たる措置の迅速なりしことを滿足を以て諒承致候、合衆國政府は十二月二十四日付日本政府公文に表明せられたる通り同政府に依り執られたる措置に關する説明は十二月十四日付合衆國政府公文に於て同政府の爲したる要求に適應するものなりと思考致候

本事件の發生原因及び經緯に關する諸事實については日本政府は十二月二十四日付同政府公文中にて同國政府の調査の結果同政府が到達相成たる結論を言明致され候、これ等同一事項に關して合衆國政府はアメリカ海軍查問委員會の決定報告書に依據するものに有之候所同報告書は既に日本政府に對し公式通達濟みのものに有之候、日本政府に於て既に執られたる處置が支那に在る米國民の利益又は財産に對する日本官憲若しくは日本軍に依る將來に於ける何等攻撃又は不法なる干渉を防止することに有效なるべきは合衆國政府の希望する所に有之候　敬具

衆議院委員長候補者

【東京二十六日發同盟】衆議院全院委員長並に常任委員長の候補者左の如し

全院委員長　村上紋四郎
請願委員長　信太儀右衞門
建議委員長　小山邦太郎

大御心の程畏し

勅語を拜し赤誠に燃ゆ

【東京廿六日發本社特電】畏くも陛下には第七十三通常議會に臨御あらせられ優渥なる勅語を賜ふ　天皇陛下には玉音いと朗らかに「朕ガ將兵倍戰ヲ冒シ大イニ軍威ヲ中外ニ發シ、而シテ朕ガ臣民亦克ク協力一致シテ時艱ニ當レリ」と宣ふや滿場寂として聲なく聖慮を畏み感激の氣院内に滿ち渡り、勅語を拜受する松平貴族院議長の階段を踏む足も感激に打顫へて議員の中には感激に兩眼をしばたたく者さへある、支那に聖戰の旗を進める將兵の上を思はせ給ひ、更に又銃後一般臣民の上にも聖慮を垂れさせ給ふ大御心の畏さに感激して聖慮に應へ奉らん赤誠の念は議場に溢れ、議員の面上には擧國一致國難に當らん熱意に燃え議場は全く嚴肅なる緊張に閉ざされたのであつた

第二回目の盛事

南京攻略戰捷賀表奉呈の件 衆議院本會議で可決

【東京二十六日發同盟】衆議院は二十六日開院式終了後午前十一時四十分より今議會最初の本會議を開き

小山議長　本日開院式を擧げさせられ優渥なる勅語を賜はりました、依つて勅語奉答文を起草致したいと思ひます

とて委員長濱田幸次郎氏以下起草委員十八名を指名し文案作製のため同四十三分一旦休憩、午後一時十二分再開、休憩中開かれた勅語奉答文起草委員會の經過並に結果に就き濱田委員長より報告し、奉答文案を朗讀すれば滿場一致拍手裡にこれを可決す

小山議長　奉答文は宮中の御都合を承はり奉呈致します

と宣し次で町田忠治氏外七十二名提出の上奏案「南京攻略戰捷賀表奉呈の件」を上程し提案者を代表して島田政友代行委員[illegible]の爲登壇す、右は明治卅八年一月七日旅順口陷落の際に賀表奉呈を議してより滿三十四年にして帝國議會第二回目の盛事である

島田俊雄氏（政友）　百万の皇軍海を渡り四百餘州三分の二を席卷し、半歳にして首都南京を陷れるに至つた、帝國出師の正しき武威國民の忠勇はこれを以てしても明らかである、茲に國民代表の府たる衆議院は天皇陛下の御稜威を仰ぎ上御一人に謹しみ奉り賀表を奉呈したいと存ずる次第である

とて上奏案を朗讀すれば議長は賛否を起立に問ひ總員起立拍手裡にこれを可決して同二十分散會

上奏案の全文

「南京陷落に關する賀表」

【東京二十六日發同盟】二十六日町田民政黨總裁はじめ政友會總裁代行委員、各派幹部より衆議院に提出され、同日の本會議で滿場一致可決された上奏案「南京陷落に關する賀表」の全文左の如し

衆議院議長臣小山松壽誠惶誠恐謹ミテ奏ス伏シテ惟ルニ北支ノ一戰ノ[illegible]皇師目的ヲ爲メニ起テテ致然兵火ヲ交ヘ連戰連勝天々皇軍ナラスシテ既ニ黄河以北ヲ宣互ルノ全域ヲ靖タシ更ニ揚子江江南ノ一帶ヲ掃メ今ヤ首都南京ヲ攻略シテ容共抗日ノ根據ヲ覆スニ至ル[illegible]在ノ民心安定シ東洋和平ノ聖業將ニソノ緒ニ就カントス之偏ヘニ陛下御稜威ノ然ラシムル所ニシテ感激ノ至リニ勝ヘス唯夫レ皇猷ヲ恢弘シテ全局ノ目的ヲ達成スルハ前途尚悠遠ナリ臣等益々堅忍持久報國ノ至誠ヲ效シ以テ聖明ニ應ヘ奉ラムコトヲ期ス即チ南京攻略ニ際リ茲ニ賀忱ヲ傾ケテ上表以聞ス

衆議院議長臣小山松壽誠惶誠恐謹ミテ奏ス

衆議院の勅語奉答文

【東京二十六日發同盟】二十六日の衆議院本會議で可決された勅語奉答文左の如し

恭シク惟ルニ事態重大ニシテ茲ニ第七十三回帝國議會開院ノ盛式ヲ擧ケサセラレ優渥ナル勅語ヲ賜フ臣等感激ノ至ニ勝ヘス今ヤ皇師遠征戰ヲ冒シテ大威外ニ發リ民心内ニ振フ然レ共戰局未タ收ラサルヲ以テ叡慮ヲ將來ニ垂レサセ給フ臣等謹ミテ聖旨ヲ奉體シ協賛翼賛ノ任ヲ竭シ上陛下ノ隆恩ニ應ヘ下國民ノ委託ニ副ハムコトヲ期ス衆議院議長臣小山松壽誠惶誠恐謹ミテ奏ス

恐懼の至り

近衞首相の謹話

【東京二十六日發同盟】近衞首相謹話

優渥なる勅語を賜はり有難き極みであります、時局を深く御軫念の御事拜察し奉り恐懼の外ありません、國民諸君とともに一層奮勵努力して宸襟を安じ奉りたいと存じます

松平議長謹話

【東京二十六日發本社特電】松平貴族院議長謹話

本日の議會開院式に方り優渥なる勅語を賜りまして寔に恐懼感激に堪へない次第であります、謹みて拜するに勅語の前段に「朕ガ將兵ハ倍戰ヲ冒シ大イニ勇武ヲ中外ニ著シ而シテ朕ガ臣民亦克ク協力一致シテ時艱ニ當レリ」と仰せられたのは出征將兵並に銃後の全國民に對しての御褒めの御言葉と拜察され、國民は今後益々緊張しこの聖旨に副ひ奉るやう深く心掛けねばならぬと存じます、又「朕ハ擧國臣民ノ忠誠ニ倚信シ速カニ終局ノ目的ヲ達セムコトヲ期ス」との御言葉に對してはこの後如何なる万難を排しても一日も早く速かに東洋平和を確立し以て宸襟を安んじ奉らねばならないと存ずる次第であります

小山議長謹話

【東京二十六日發本社特電】小山衆議院議長謹話

本日第七十三回帝國議會開院式を擧げさせられ優渥なる勅語を賜りまして、從軍將兵の勇武と銃後國民の協力一致とを嘉せられ給へることは寔に恐懼感激に堪へませぬ、今後國民は愈々堅忍持久して忠節を勵み最後の目的を達し聖恩の万一に報い奉らねばならぬと存ずる次第であります

ソ聯の積極援助を誰が打診する？

蔣大使は急遽歸任

【モスクワ二十六日發同盟】モスクワ支那大使館當局は二十五日蔣廷黻大使が本國政府の召還命令に依りモスクワを出發急遽歸國の途に就いた旨言明した、大使館當局では「蔣大使は恐らく歸任すまい」と漏らしてゐるが後任に何人が任命されるかは不明である、モスクワ外交界は「蔣介石はスターリン氏に[illegible]との程度にソ聯が支那を援助するか、その言明を得るに足る[illegible]の有力人物を任命するだらう」と見てゐるが消息通は前顧問大使ボゴモロフ氏の[illegible]人物を任命するにせよスターリン氏[illegible]へるや否やは疑問であるとしてゐる

米國の公正明察

誠に欣快の至り

我が海軍の發表

【東京二十六日發同盟】海軍ではパネー號事件に關し二十六日午後七時海軍次官談の形式をもつて左の如く發表した

パネー號事件は本日米大使より外務大臣に致せる回答をもつて一段落を告げたる次第なるが右は事件發生以來各種誤解宣傳の渦中にあつて米政府並に米國民が公正明察好く事件の實相と我方の誠意とを正解したるに依るものにして本件の責任者たる帝國海軍として誠に欣快に堪へず又本事件發生以來我が國民が終始冷靜にして理解ある態度を持したることに對し深甚なる謝意を表するものなり、今後我海軍は彌々自重自戒以て此種事件の根絶に萬全を期するは勿論なるが一方更にこの機會において支那事變を廻りて帝國と第三國との間に介在する各種の誤解疑念を一掃し進んで理解と親善とを致らしめ以て災を轉じて福となすことに對し我が國民一致の協力を切望して已まざる次第なり

殘るは賠償額

米國輿論も落着く

【ワシントン二十五日發同盟】ハル國務長官は二十五日夜駐日グルー大使に訓電を發し、廣田外相に對しパネー號事件に關する二十四日附日本政府の回答に對しアメリカ政府の通牒を手交するやう命じた、右通牒は帝國政府の回答の主旨を諒とし日本が右回答に於て既に執つたと述べてゐる手段が今後この種事故の再發を防止するに效果があることを切に希望すると述べたもので事件は賠償額の決定等の外些末の點を殘したのみで事實上解決したと見てよい、これでアメリカの輿論も漸次落着いて來ることとならう

米政府の回答手交

グルー大使、廣田外相を訪問

【東京二十六日發同盟】駐日アメリカ大使グルー氏は二十六日午前十一時半廣田外相を訪ひ、アメリカ政府の對日回答通牒を手交した

豫算委員長に若宮貞夫氏

【東京二十六日發同盟】政友會では貴族院の豫算委員長に若宮貞夫氏を推すに決定した、尚政務調査會長には大口喜六氏が内定した

政友會の常任委員長候補者

【東京二十六日發同盟】政友會では二十六日午後三時本部に院内外總務會を開き左の常任委員長候補者を決定した

豫算委員長　若宮貞夫
決算委員長　西方利馬
懲罰委員長　高見之通

尚政務調査會長は大口喜六同副會長は[illegible]、三善信房兩氏と決定した

けふの兩院

【東京二十六日發同盟】二十七日の兩院

貴族院　午前十時本會議を開き勅語奉答文を議決、次で全院委員長、常任委員の選擧を行ひ終つて出征將兵に對する感謝並に戰死傷者に對する弔慰の決議案を上程可決して散會する

衆議院　午前十時本會議を開き全院の委員長常任委員を選擧し次で議長より勅語奉答文奉呈を報告して後出征陸海軍將兵に對する感謝決議を行ひ散會同各常任委員會は常任委員長を互選する

對日親善使節團を伊太利が派遣

ム首相の親善書携行

【ローマ二十五日發同盟】イタリー政府は陸、海軍其他政府各部門の代表者で組織される對日親善使節團を近く東京に派遣する旨二十五日發表した、使節團はムッソリーニ首相の親書を携行し日本政府首腦と兩國の防共一般の各種問題に關し意見を交換する筈

四機爆破

海軍航空隊の巨彈に中つて

【上海二十六日發同盟】海軍航空隊は二十五日左の諸地點を爆撃した

一、浙江省諸暨及び臨頭鎭
一、廣東省英德及び韶山
一、江蘇省徐州及び連雲港
一、山東省沂州
一、湖北省漢陽

因に漢陽飛行場にては地上待機中の敵機四機を爆破したが一方上空に飛翔中であつたソ聯製E十六型戰鬪機一機は逸早く遁走した

天長を占領

【上海二十六日發同盟】上海軍午後六時發表　揚州を占領して敵を西北方に向つて追擊中なりし我が部隊は二十二日天長（揚州西北方五十粁）を占領せり

臨汾の殘敵爆擊

【○○根據地二十六日發同盟】近藤部隊の精鋭○○機は二十六日午前太原西南二百五十粁同蒲線の要地臨汾附近に集結中の敵敗殘兵約一千を發見これに猛烈な爆擊及び機銃掃射を加へ大打擊を與へた

代表を出して質議を行ふ

貴族院で打合はす

【東京二十六日發同盟】貴族院では二十六日開院式終了後、午前十一時半院内議長室に正副議長、各派交渉委員並に部長、理事參集、勅語奉答文案を決定した後、非公式交渉會に移り明春休會明け劈頭における國務大臣の施政演說に對する質疑方法につき協議の結果、今議會は事變中で特に重大であるから順序として先づ各派より各一名の代表的質疑を行ひ終つてその他の通告順に依る質疑を行ふことに決定した

和かな陽光燦々

景勝の地杭州

早くも復活に踏出す

【杭州二十六日發本社特電】錢塘江に沿ふ江南第一の景勝地杭州は二十四日遂に皇軍によつて占領された、明くれば大正天皇祭の廿五日連日の雨も歇んで和かな陽射しが西湖に燦々と注いでゐる、我が杭州攻略軍の神速な攻擊によつて支那兵の庭所を拔き殆ど抵抗の暇を與へず陷落した、輝く勝利を滿身に浴びて堂々隊伍を組んで杭州城内を行進する皇軍の勇姿を手に手に日章旗を打振りながら住民が總出で歡迎するのも無理はない、杭州は正しく日本軍の爲め兵火を逃がれたのだ、西湖畔にある日本領事館も破壞されたままの姿であるが留番の支那人老爺が一人、人の好ささうな笑顔で庭掃除をしてゐた、市内居住の外人達も急に喜びの色を浮べて自國國旗を翻へして自動車を走らせ支那人が子供の手を引いて散歩してゐると言ふ朗かな風景だ、杭州は皇軍入城第一日にして早くも復活に踏出したのだ

長谷川長官が嚴重布告

【上海二十六日發同盟】長谷川支那方面艦隊司令長官は二十六日我軍の占領地及び守備區域内に對し左の布告を發した

我軍の占領地又は守備區域内において左に掲ぐる行爲をなしたる者に對し軍律に照し死刑又は重罰に處す、但し爲行前自首したる者は其罪一等を減じ又は刑を免除せらるべし

一、日本軍に對する抗敵行爲
二、間諜行爲
三、日本軍所屬者に對し危害を加へる行爲
四、日本軍の用に供する鐵道、電信、電話、道路、橋梁、水道等を損壞し其他交通通信運輸を妨害する行爲
五、水道、電燈等を損壞する行爲
六、日本軍の兵器彈藥其他軍用に供するものを盜奪し又は損壞する行爲
七、日本軍を害する目的をもつて毒物、細菌を使用する行爲
八、其他日本軍の安寧を害し又は軍事行動を妨害する行爲
九、以上の行爲を企圖し又は教唆若しくは幇助する行爲
十、以上の行爲を爲したる者を隱匿する行爲

昭和十二年十二月二十六日
支那方面艦隊司令長官　長谷川清

督府事務官は六名增員

臨時職員設置制の改正

總督府部内臨時職員設置制中改正に關する勅令は廿七日公布されたが右の内容は

○外國爲替管理に關する事務に從事する事務官一名
○貿易調査に關する事務に從事する事務官二名
○通商振興に關する事務に從事する事務官一名
○資金制度調査に關する事務に從事する事務官一名
○資金資動及び管理に關する事務に從事する事務官一名
○臨時經濟外事警察に關する事務に從事する地方警視（臺北州外事課長）一名

都合事務官六名、地方警視一名とその他技師、屬、技手を含むものである、因みに改正の結果新に生れた事務官、地方警視の新定員を充實すべき人事異動は年内には行はず年があけてから人選の上一月中に發令を見る模樣である

人事

▲今泉浩氏（日本生命臺北支店長）廿七日内地より歸臺
▲河原田文部次官　二十七日午前八時十三分[illegible]富士丸で離臺

天無口

"米次内相"の出現で唯なんとなく政界や一般社會の空氣もピーンと張り切つて來たらしく、歡樂境方面などでは、今から内心ビクビクものであるとのことだ、而も此の間、政界筋では、いろいろ樣々な噂りを廻かせてゐるが"この次の内閣は米次模樣で飾られるだらう"などとの飛躍までであるらしい。何しろ、日本人らしい氣の廻し方の早さだ▲先ごろ一條實孝公、頭山滿翁、山本英輔大將などの署名で、一國一黨の擧國的政黨結成の檄が飛んだが、この署名者の中で後になつて"わしはそんな事を知らんがな"などいふ人も出て來て、政治運動には附きものの波瀾が捲き上つてゐるといふ▲當の頭山滿翁なども新聞でアノ檄文を見て"ホーそんなものもあつたか"と驚いてゐたさうだが、海軍の山本英輔大將は"わしは名を出す事を明かに斷つとる"とて軍人だけに曖昧な事が嫌ひでフンガイしてゐるといふ。しかし本人の正式否認の声明が未だ出てゐないので之等のいざこざは凡て黨局内での話である▲この行き違ひは兎も角一國一黨の即時結成が、今の我が政界事情の下では誂へ向きだといふので獨立の局に當つてゐた人達が仕事を急ぐ必要から一應そんなへの人へ話はしたが確たる承認の無いのもあり、又投げた一石が政界に大きな波紋を描いたりしたので、その反響に今更ら氣味わるく思つて來て尻込みを始めた樣な傾きもあるらしいとのことだ

MARUZEN MARUZEN MARUZEN MARUZEN MARUZEN
日本のインキを代表する
丸善
アテナインキ
アテナの便りに　アテナの返事
全國到る所にあります

科學ペン
新年號 大特輯 85
自然科學的世界觀と認識論
マッハ、ピアソンに始つた近代自然科學の思潮にして殘す處なし！諸大學の平易な解說と批判
◆マッハ—桑木嚴翼◆ピアソン—[illegible]
ラザフォードの死
創作 超ゾ綠ゾQ家 南澤十七
木下尚江を想ふ 石川三四郎
ガリレオとミルトンの會見 野尻抱影
現在避姙法批判 [illegible]
サンガー夫人の横顔 石本靜枝
子供の詩と子供の文章 百田宗治
自由詩の歷史 [illegible]
ジイドの犯罪論 青森次雄譯
今世紀文化史上に燦たるジイド！彼を、彼の提出した問題を、徹底的に再檢討する！
アンドレ・ジイド批判
科學ペンクラブ發行 麹町區内幸町一ノ大阪ビル二號館 振替東京六八五五五

同文館
刊
東京・神田・神保町一丁目
振替口座東京一三三五番

實務家必讀の書
會計精義 理論と實務
帝國計理士協會理事長 岩垂至著（最新刊）
今日の會計記錄は企業管理上の羅針盤であり企業自衞上その整備は必須のものとなつた。然し乍ら會計の記錄は單なる形式的の整頓だけであつては足りない。必ずその内容に於て正確に財政・業績の消長變化を描寫し表明するものでなければならぬ。本書は現下企業界に於ける如上の諸要求に應じて學界・實際界に深き經驗を有する著者が、會計學の理論と會計實務との調和を圖り、會計の全過程に亘り必須事項を簡約說明したる快著。
菊判クロス裝 三五〇頁函入 價二・五〇 送料一八

卅二版
事務必携
日本產業能率研究所長 上野陽一編
凡ゆる職場に働く人々は一人一冊本書を必携せられよ！之はありきたりの日用便覽ではない。事務能率の權威上野先生が能率增進の立場から、事務の取り方を說き、合理化の精神から事務の心得を述べた事務取る人の虎の巻である。
菊半截判三〇〇頁 價一・〇〇 送料〇九
目次 日常事務 計算事務 文書 印刷 通信事務 文書整理 事務室 事務の自己診斷 事務用機械器具

簿記會計書！
岩垂至著 會計實務誌 例解・實例を多く採入れた實務會計指南書として既に十五版 菊判三七〇頁 價二・七〇 送六
岩垂至著 實用簿記會計の知識 實務的見地から會計原理と簿記の基礎原理と新方法を說く 四六判二八〇頁 價一・〇〇 送三
池田英太郎著 實用工業簿記の知識 工業簿記に就き素人にも解り易く書かれたもの 四六判三三〇頁 價一・六〇 送三
片野一郎著 簿記精說 理論と實務 簿記の實務や理論に明るい人々に參考書として好評 菊判四四〇頁 價三・五〇 送六

臺灣を中心とした本年の財界回顧

[illegible]牛尾調査課長談

内外多事なりし昭和十二年も剩すところ僅に數日に過ぎず本年中の大きな出來事であつた支那事變も皇軍の赫々たる戰勝によつて事變勃發以來半歳を經ずして早くも敵の首都南京を陷れ國民は 陛下御稜威の輝しさを拜し又忠勇義烈の我將士に對し衷心感謝の意を捧げつつ更に前途遼遠なる時局に備へんがため一層の緊張味を以て來るべき新年を迎へんとしてゐる

(承前)次に本島金融界はどうであつたかと云ふと生産經濟の發展之に伴ふ消費經濟の伸展により通貨の需要も一段と增加して來て本年は

臺銀券の 發行高も終始一億圓台を出現した、之は本年金融界に特記すべきことであつて年末最高發行高も一億一千万圓近くとなつた、尤も最近の增加の内には事變關係による特殊需要もある樣であるが其前の六月で比較しても昨年の同期に比し一千一二百万圓の增加である何時も云ふ樣に昭和六年末の我國金輸出再禁止による貨幣價値修正が永年の國際經濟競爭上の「ハンデイキヤツプ」を除去し爾來我輸出貿易は伸々して發展し其上國防の充實を期せんとする國内産業の進展により内地經濟界は久し振りに非常なる活況を呈し本島生産物資の移出增加と其價格騰貴が生産、分配、交換、消費の各部門に亘りて通貨の需要を增加せしめ來つたのであつて別に不思議はないのである生産の量的增加が伴はない通貨の膨脹は戒心すべきであるが生産量が殖えて其に比例して增加する通貨流通高は決して恐ふに足らない、即ち

生産量の 殖ゆることは生産利潤の增加を伴ひ之が基となつて凡有經濟層に因果的に利潤の增加が擴がり斯う云ふ時には自然預金も殖え流通通貨も殖えるのである、そこで台灣にかける今日の通貨流通高が本筋のものであるや否やを檢する爲めに昭和元年を基準として其後の物價、生産、銀行券流通高の三指數を對照して觀ると左の通りである

	物價指數	生産量指數	銀行券指數	生産金額に對する銀行券の割合
昭和元年	一〇〇	一〇〇	一〇〇	八・六%
二年	九五	一〇〇	九六	九・〇八
六年	七二	一二八	八二	八・五三
十一年	八八	一六三	一〇四	八・五六
十二年(推定)	九九	一七六	一〇二	九・〇八

銀行券の 流通高は近年生産金額に對し大體八・五%内外を往來して居るのであるが此の比例に大なる變動がないと云ふ事は經濟的に通貨流通高が堅實の歩調を保つて居ることを證するものである、本年は此の比例が少し上昇し昭和二年のそれに近似して居る事は注目に値する、尤も本年の生産高は推定によるものであるから果して前揭の如き比例が實際のものとなるや否やは斷言は出來ぬが本島に於ても矢張り内地同樣預金增貸出增の現象を示して居るが預金は昨年中の增加が八百万円であつたが本年は十一月末現在では五百万円增に減じ

貸出金は 昨年中增加六百万円に對し本年は一千二百万円の增加となつて居り預金增と貸出增との間に强弱の差があるのである、金利に於ては内地觀測の所で述べなかつたが年中を通して短期資金のコール歩合は多少とも動搖があつたが商業手形割引率などは一流ものも幾分强含みであつたが大勢變動はなかつた、島内に於ては保證發行限度擴張の關係もあり台銀割引利率は幾分下がつたのである(終)

内地食糧資源檢討

米の需給心配なし

將來性あるは小麥、甘藷、馬鈴薯

望の綱は技術の向上

農政者にかては、戰時體制に對應して生産擴充の確保を期すべく、この程政策の基礎調査を取纏めるところあつたが、いま食糧農畜水産物の内地資源について、再檢討を試みるであらう

農産資源 先づ食用農産物の生産を見ると、その作付約六百万町歩、價額にして二十億円と推定されこの内、米は一人年平均一石一斗以上の消費を見てゐるので、年七千八百万石から八千万石を要する、然るに内地では精々六千二三百万石しか收穫されぬ爲弗々朝鮮、台灣、シヤムから約一千五、六百万石の米を輸移入してゐる、この現況を以て

◇…三十年後の 需要を推定すると、少くも内地だけで一千万石以上の生産增加を圖らなければならない、而も過去の實績を見ると、明治二十八、九年頃は三千九百万石に過ぎぬ收穫であつたが現在では六千二百万石程度となつてゐるから、この四十年間に二千万石の增收に成功したわけで、而もこの增收は米作面積の增加に基くものは約四百万石と推定されてゐるから、若干二千六百万石の增收は、單位收量の增加に依存してゐるわけである、この根據を以てすれば前記の二千万石增收の問題はさして心配せずに濟むと樂觀されてゐる、次に麥であるが、最近五ケ年

◇…平均大麥は 六百九十九万石、裸麥六百十万石の生産があるが、この作付は、大麥では明治二十九年の六十七万町歩、裸麥は大正三年の七十三万町歩を最高として漸減してゐる、これは國民生活の變遷に伴ふ麥食の減少に因るものであるが、大麥、裸麥は食用以外に、家畜の飼料、麥酒、味噌、醬油の原料となり、特に事變下に於ては軍馬の飼料として與大の需要がある、政府が明年から、收穫大麥七十万石の增産を奬勵した所以は茲に在るが、勞力不足の現狀に於て、而も他の裏作を壓迫せずに遂行することは、相當の困難が伴ふ

◇…小麥は米に 次ぐ主要食糧であるが、生産が需要をカヴアー出來ず、外麥を大量に輸入してゐた、即ち昭和五年當時の内地生産は六百二十万石で、外麥の輸入は五百万石に達した、そこで國際收支の見地と農家經濟改善の必要から、昭和七年以來大馬力で增産した結果、作付の增反と品種改良栽培技術の改善による反當收量の增加が奏功して、本年は遂に一千万石の最高記錄を出した、これで外麥の防遏はほぼ目的を達した、現在輸入されてゐる外麥は、大半が内地で製粉して海外に出す所謂加工利潤の國内確保であるが、將來内地小麥のコストを下げ

◇…用途別品種 の普及を圖れば、この原料外麥をも、農家經濟の利益に於て防遏することが出來よう、更に年産九億万貫の甘藷、三億五千万貫の馬鈴薯がある、甘藷は栽培が容易で單位の收量が多く、反當收穫も多く用途も廣い、生食以外に澱粉や燒酎の原料、無水酒精の原料等、需要は飛躍的に增大してゐる、馬鈴薯も海外輸出の增進と、無水酒精製造事業の進捗で、時代の寵兒となつてゐる、この增産が

◇…奬勵の拍車 で有望に展開してゐることは言ふまでもない、澱粉は生活必需品から至高嗜好品として親しまれ菓子類、麵類も澱粉であり餅菓子、飴菓子、澱粉、竹輪等各種食品に多少なりともこれを含んでゐる、衣服の仕上糊や洗濯糊等は主として甘藷、馬鈴薯の澱粉より作るもので、その生産高は一億五千万斤、二千百万円以上に達しその殘額は豐富で一部は海外へも輸出してゐる、砂糖には熱帶地方に産する甘蔗糖と寒帶地方に産する甜菜糖があり、從來爪哇、秘露等より輸入して

◇…國内需要を 充たしてゐたが、現在では年十二億斤の砂糖を生産国内需要を充たして尚餘りあるに至つた、我國砂糖の八割は台灣に生産する双目で菓子用及料理用調味料としてその殆ど消費されるが、主として白砂糖とする黑砂糖は主に沖繩、大島等に産し、駄菓子又は農山漁村で各種調味料として珍重される、一人當消費料は丁抹五十二斤、英吉利四十八斤等に對し日本は僅か十一斤に過ぎない、蒟蒻は山間農村に廣く栽培されて山村農家の收入の

◇…重要部分を 占めてゐる、全國一ケ年生産高は生玉九十万ピクル、八百万円で、植付後三四年で初めて收穫されるが、一箇の重量は三年目で四百匁、四年目で一貫内外に達する、生玉の儘食用路を辿ることもあるが、普通は生玉より切干を製し、これを搗いて精粉とするもので、その七、八割は食用に殘りは工業用糊として用ひられる、何支那、爪哇より野生蒟蒻の切干が一ケ年約五十万円輸入されてゐるが資源としては心配すべき程でない、次に、熱帶から亞熱帶へと地方的に生産される各種

◇…蔬菜果實は 相當豐富であり、其の加工品の生産額は、蔬菜二億円果實八千万円、花卉約一千万円、罐詰類一千万円合計約三億円で、この中約三千万円が輸移出されてゐる、蔬菜の中、消費多きものは大根、胡瓜、西瓜、甜芋、蕪類、白菜、茄子、甘藍等で甜菜の如きは昨十一年には四千万貫を生産し、十年前の約十三倍といふ躍進振である、果實の中で生産の最も多いものは柑橘で

◇…果實全産額 の約四分の一を占め、朝鮮、滿洲を初め加奈陀、合衆國に迄輸出されてゐる、南の蜜柑に對抗して苹果の生産も旺盛である、一人當り消費量は柑橘は合衆國四貫八百匁、西班牙四貫二百匁、英國四貫、加奈陀二貫六百匁、日本一貫五百匁、苹果は合衆國五貫に對して我國は僅か四百匁に過ぎない、この外産額の多いものに柿、梨、葡萄、梅、栗などがある

北支の經濟開發は

臺灣茶躍進の好機

蒙古民族の嗜好する磚茶

臺灣製茶株式會社 陳清波氏談

南京陷落に次で中華民國臨時政府が成立し北支の經濟開發は愈々緒に就かんとしてゐるが、之と共に台灣の製茶界は新販路の開拓と增産の急務が叫ばれ北支蒙古に對する輸出の問題が斯業者間に關心を持たれるに至つたことは喜ぶべきである、我が茶業界の先覺者として知られてゐる台灣製茶株式會社の陳清波氏は北支の經濟開發は台灣茶躍進の好機であると次の如く語つた

私は滿洲國建國以來、商取引關係で滿洲國は勿論北支へ度々往來して來た、殊に昨年の冬から今春にかけては特に蒙古方面の茶に關する事を調査の爲め取引現地に行つて實地に視察して來た、然るに今度の事變に依つて北には逸早く蒙古聯盟自治政府が成立し近く又北京に中華民國臨時政府が誕生した中支に於ては國民政府の首都たりし南京へ皇軍が堂々入城ここに全支に亙る黎明は將に訪づれんとしつつある、此の時先づ何を措いても皇軍の勇武に對して感謝と感激の念に打たれる次第である、それと同時に我が商的に課せられたる各方面に亙る任務に就ては夫々國策的見地に基いて大いに努力しなければならぬと思ふ、就中臺灣の特産品たる茶に就てここに二三の卑見を述べ御參考に資し度いと存ずる次第である、御承知の通り今日の臺灣の茶の產額は輸出に不足を來してゐるが來年になれば其の不足額は更に增大するものと思はれる、而して茶の增産に就ては關係者間で研究考慮されてゐるが、從來我が臺灣茶は質の向上に重點を置き大量生産の点に就て考慮されてゐなかつた爲め茶は當局並に關係業者のお互に檢討すべき問題でなければならぬ

△　△

滿洲國並に北支の都會地に於ては包種茶或は包種茶を改良したもので嗜好に應じ得る事は御承知の通りであるが滿洲國内の興安四省並に熱河省辺り察哈爾省外蒙古及び蒙古聯盟自治政府區域内等に於ては磚茶を嗜好してゐるのである

△　△

先輩から承つた所によると昔時でも昔は磚茶を製造して居たやうに聞いてゐるが、過去數十年來臺灣で此種の茶を造つたとの事は聞いてゐない、抑も磚茶といふのは綠磚茶と紅磚茶との二種に分れて居り就中紅磚茶は主としてロシヤ人が消費し綠磚茶は蒙古人が消費するものである、大陸に居を有し而も青物野菜類の惠みを全く享けられない蒙古民族にとつてはお茶こそ彼等の命であり通貨であるとしてゐる、彼等の日常生活は殆ど原始的であつて食物は肉類乳類である、彼等は紙幣銀貨を輕視し日常生活必需品を重視する傾向あり、空氣の非常に乾燥してゐる彼地にあつては一日もお茶が無くては生きて行かれぬのであつてみればお茶は彼等の生活必需品中の必需品なのである、磚茶は茶葉、茶枝、茶角並に茶粉等を壓搾して固形にしたもので大體長さ約一尺幅約五寸厚さ約一寸、重さ約二斤である、其の他色んな形に又重量も種々あつて裏表には漢文や蒙古文或は山水車馬の浮彫を押して商品の目標としてある、文獻或は色んなもので調べた所に據ると之は茶質を保持し、交通運搬に便ならしめんが爲めに壓搾固形に工夫したものであると言はれてゐる

△　△

磚茶の産地は南支方面で集結地は漢口である、それから水路で滿洲國向は營口、蒙古方面行は天津で陸揚する、滿洲では營口から遼河で通遼、北票、遼源、赤峰へ運ばれ又は汽車、馬車で奧地へ運搬されて行く、蒙古方面は天津から陸路で張家口、綏遠へ運びそれから駱駝、牛車、馬車で奧地蒙古奧地へ運んで行く、一例を申すと張家口から庫倫まで駱駝を利用したら一ケ月餘を要する、此の点を見ても昔の人が磚茶を考へ出した時の工夫が察せられる

△　△

之が取引は支那人もやつてゐるが主としてロシヤ人がやつてゐる、ロシヤ人は茶の取引に依つて支那商人の不信行爲に蒙古人が被害を蒙かしてゐる所につけ込んで磚茶の供給を自分の手に收めたのである、而今我が帝國が此の民族を指導し東亞の大同團結を完成するには磚茶の問題を先決すべきであると私は信ずる、內地の靜岡などでは今まで磚茶を多少試みたが大した成功とは言へなかつた、但し今後の利益上政策上[illegible]が臺茶が一役買つて出るべきである、其の方法如何は當局並に專門家にお願ひするが我々のやうな再製業者の考へでは進んで大量增産を圖らねばならぬと思ふ、それは前述の如く綠茶の粗葉、枝、角、粉などを原料として九十パーセントの割に對して十パーセントの幼葉で壓搾するのであるから質に對しては餘り矢釜しく言はれてゐない、從つて田の隅、畑の隅、竹籔の側、庭など少しでも空地のある所に栽培して增産を圖り此の磚茶の原料に供給出來れば各家庭の副業にもなるであらう、之等の獎勵法等は當局に於て充分研究されん事を望む次第である

事變下の歲末

景氣は案外良好

節約が却つて購買力を涵養

島都市場の賣行活況

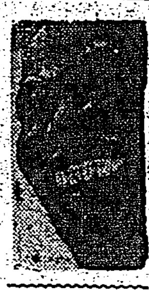
事變以來一般の消費節約により不振を續けた島都の景氣も、節約が却つて購買力の蓄積となつて、南京陷落以來は實需品に對する購買力を盛返して來たので、氣遣はれてゐた歲末景氣も漸く活況を呈して來た、西門町消費市場の賣上に見ると十二月上旬の總賣上高は三万三千十六円で前年同旬の三万二千百五十円に比し八百六十六円增(二分七厘增)を示し先づ常態に復したわけである、中旬の賣上高は三万五千四百九十六円で前年の三万九千七百九十四円に比し四千二百九十八円減(一割八分減)となり低下を示した、然しこれは雨天が多かつたので客足が減つたためである、上中旬を合計してみる

經濟時事

物價騰貴の折柄

問題提供の米價

統制法の使命再認識



本年度の公定米價が決定された、米價に於ては最高は二円十錢上げ、最低は三円上げである、その引上げは、ずつと前から豫想されたことで、大體に於て豫想と一致して居るやうだが、消費者に取つては相當に手痛いことだ

◇　◇

昨年から物價は一齊に騰貴して居り「米價」のみがその例外におかれるわけがない、が併し騰貴率の甚しきものは國際關係や爲替相場の關係から來て居る國際商品である、それも昨年秋から騰上りに上つて來たものの、本年四月を頂上としてその後は軟落して來たやうな傾向がある、即ち昨年の秋から本年四月までの間に二割四分の騰貴を示した日銀平均物價指數はその後軟落し、本年十月の物價指數を昨年の同月に比すると一割八分の上位になつて居るに過ぎない

◇　◇

過去二ケ年間に於ける一割八分の騰貴率からすれば、今度の公定米價の引上げ率は、ただ比較的低率かも知れない、併し米價の引上げは、農村經濟から來たことで、肥料、農具その他農村必需品の騰貴からすれば、最低米價の引上げこそ必然かも知れないが、最高に關しては、或る程度まで手心を加へても差支へない害である。それでなくとも諸物價の昂騰に依り、消費大衆の生活は脅かされて居る一般の台所へは、ずッと前から相當に苦痛を訴へて居るのに、生活必需品のなかに於ても重要部分を占むる米價に、騰貴の可能性を含ませるといふことは、重大問題である、最低は知らず、最高の限度は熟慮すべきものである

◇　◇

はじめ米穀法が施行された當初に於ては、米價の昂騰抑制といふことにあつたが、その後十數年、農民の收入の改正は米價の不當な低下を防止し、相當の所に維持しようといふのが最近の實際事情で、米穀統制法になつてから特にその觀を濃かしむるものがあるが、米穀統制法の眞の目的は、その値下りを少くし、値下りを防ぐと同時に値上りをも抑制しようといふにある

◇　◇

過去の多くの場合からすれば、農村生活の爲めを計つて來たかの如くであるが、最近の一般物價の騰勢からすれば、今後に於ては、米穀統制法は消費者保護の爲めをも計るものであることを知らしめなければならぬ、況んや通貨の膨脹からインフレの傾向は一段と勢ひを增し物價の騰勢に拍車をかけようとして居るに於てをや、ドイツその他のパンの價格公定の事情からしても、米價の問題は今後の國民生活の上に重大な問題を提供しなければならぬだらう

一期用肥料の取引

單肥より化成肥料へ

先高見越で賣澁る

本島の肥料消費期は一期作は一、二、三月頃であるが、先高見越であるだけに頃日來大口の取引が行はれ小賣商は年明け後の景氣を可なり期待してゐる、農民は近頃三要素又は二要素具備のものを歡迎し〇〇完全肥料、二要素具備として〇〇調合肥料又は硫安肥料を使用する傾向がある、今後は單肥消費より化成肥料使用へ漸次轉向するものとみられる

肥料三要素
一、窒素(葉肥)硫安　大豆粕
二、燐酸(實肥)過燐酸石灰
三、加里(根肥)硫酸加里　鹽化加里

大稻埕の市況は年末接近につれ閑散を呈してゐる、即ち

豆粕 閑散期乍ら農會の入札期を過ぎ入札納入濟は百万枚に達し大體完了を見た、三井、三菱、杉原各々二、三十万枚宛落札し一部は山本商店の手に落ちた、相場は六、七月頃二円七十錢で天井を打ち爾來大豆豐作と船腹不足で歐米筋へ賣れないので尻安の足取を示し進出乍ら船腹難で二円五十六錢の高唱へで賣手少なく、一方消費筋も此の高値では買付かず双方睨合ひである

硫安 内地販賣統制の結果、島内肥料商間では無謀の競爭を避けんが爲何とか共榮策を考究し寄寄協議中である、農會購入の分は豆粕と同樣三井、三菱、杉原の三者間で大部分納入決定を見た樣である、相場は十一円九十錢搦みで將來は十二円ヅラに乘せること必至といふ人氣である

過燐酸 目下は不需要期乍ら燐礦石輸入不許可を見越し一時の一円三四十錢から一円八九十錢乃至二円迄奔騰した

綿織物八億圓突破

八割迄は廣幅に集中

商工省調査發表

商工省では昭和十一年に於ける本邦綿織物の生産調査を行つてゐたが、この程取纏め發表した、これに依れば生産總額は八億八千三百三十四万二千餘円にして前年に比し六千九十二万三千餘円を增加し即ち七%の增加率を示した、而して廣幅物、小幅物、特殊物につきその割合を觀るに廣幅物七億一千二百九十一万七千餘円(八二%)小幅物八千六百八十七万四千餘円(一〇%)特殊物七千三百五十四万九千餘円(八%)である、之を種類別にみるに廣幅物に於ては金巾二億一千十五万円、綾綿布一億二千四十二万六千円、織木綿及織色無地六千五百九十六万七千円、天竺木綿五千六百二十九万四千円、小幅物に於ては白木綿四千四百六万八千円、織木綿一千八百四十二万四千円、紺木綿九百七十五万五千円、特殊物に於ては綿毛布(同襟掛を含む)二千二百四十七万円、タオル一千九百二十六万二千円、敷布四百六十六万六千円等其主要なるものである、右生産額を地方別に主要なものを擧げると愛知縣が二億二千四百九十二万円で第一位を占め、大阪府二億六百六十万円、靜岡縣七千百五十八万円、兵庫縣七千六十九万円、岡山縣四千九百八十七万円がこれに次いでゐる

次に機業場數についてみるに、年末現在に於て機業場數は四万六千九百十五、機台數は三十九万二千九百四十一にして前年に比する機業場數に於て一千四百七十四(三%)を減少し、機台數に於て六千九百六十一(二%)を增加した。機業場數を所有機械數の多少に依り區別すれば十台未滿のもの四万一千六百一十三(八九%)十台以上五十台未滿のもの三千二百八十九(九%)五十台以上のもの二百八十九(二%)にして一機業場當り平均所有機數は約八台である、是機數を機業別にみると力織機八七%にして手機は僅に一三%に過ぎない、なほ機業場數を地方別にみると機業場數の一番多いのは一万七千五百七十五の愛媛縣で、これに次いで廣島(六、四七二)福岡(四、八八一)沖繩(三、三五七)熊本(二、一五一)の順である、織機數では大阪の八万二千百九十六が最も多く愛知(八〇、八九〇)靜岡(三九、〇五九)愛媛(三二、二八四)兵庫(二五、七六〇)などがこれに次いでゐる

次に職工數は年末現在にて二十三万九千八百八十一人である、この内、男工は三万三千八十八人(一四%)女工二十万六千四百九十三人(八六%)にして之を前年に比較するに總數に於て一万百七十四人(四%)男工二千四百八十一人(八%)女工七千六百九十三人(四%)を各增加した、規模の大小に依り職工數をみると十台未滿の機業場に於ては五万二千五十四人、十台以上五十台未滿の機業場に於ては四万九千百八十四人、五十台以上の機業場に於ては十三万八千六百四十三人である、なほ職工數を地方別にみると愛知縣四万一千七百二十五人で首位を占め大阪(三七、三〇五)靜岡(一九、五三二)愛媛(一八、四六九)兵庫(一七、六三二)等が主なるものである

丸糯は反落後小康

硬軟の腰入れが深い

十二月十五日前後から内地の年内手當一巡で氣崩い成行を示し當中は有力移出商に買抑へられた丸糯は内地買氣の衰へるにつれ、十一日の一月二十日限十三円七十九錢を頭に漸落步調を辿り、二十五日は場外で十三円臺を無造作に割り十二円九十七錢と高値から八十二錢方の頽落を告げるに至つた、目先は内地米買上の噂みもあり、秋ぎ後に十三円臺を奔還し郡一錢と手堅き唱へだつた、當限は十二円八十四錢と小戻し現物より九錢高である、二十四日現在の當限賣方筆頭は加藤の八十四車之に次ぎ、買方は十九車が最高で其の他は餘り目立つものはない、中限の賣方は振發の百九十二車、加藤百二十八車、幸福百十九車で新合名百二十車、東瑠百十九車である、此の中限の取組は六百十八車と多きに達し双方の腰入れ深く一方中限の取組も四百二十六車に上り百車以上の建玉は買方振發二十六車、買方發賣百九十八車で年明け後の出廻りと期米次第で之も一波瀾を豫想されてゐる、遠限の氣配は當限十一円、中限十一円十七錢、先限十一円二十五錢と順保合である

洋灰工業は

既に行詰る

出荷協定にも異論

セメント改善委員會の[illegible]緩和、一基業會社の特定率復活、新造セメント限度取扱ひ方法は過日話題を見たが、商工省では近日中に、更に小委員會を招集、殘された問題、(イ)最高價格の改訂問題、(ロ)出荷調節比率の改訂、(ハ)老朽設備の淘汰方針について協議を重ねることとなつた、今日までの審議の空氣では、最高價格の改訂(引上げ)は聯合會側の要望とは逆に高度限産、統制法による保護强化、消費者擁護といふ二途の觀點から引上げは、絕對不可なりとの意見が强い、出荷調節は理想としては異論はないが、これがために出荷能率協定を强化しアウトサイダー小野田派を排擊することは凡ゆる点から見て合理性を缺いてゐると云ふので、商工省の見解でも、出荷協定の法的强化には反對であるから、恐らく小委員會もこの大勢に順應していくものと思はれる、老朽の整理淘汰はしばしば問題となり乍ら、各社と利害一致せず常に徹底的な方法を回避してゐるが、セメント工業の根本的脆弱性にメスを入れるためにはその一方法として老朽設備の徹底的積極的な整理淘汰が必要であるとの原則的意見については各方面とも一致してゐるので、問題はその具體的方法である、之等の諸問題に對する結論に到達するまでには尙相當の時日を要する模樣であるから決定は結局明春となるう

鹽糖の總務部長

は岩崎氏が代理

鹽水港製糖の總務部長內村榮助氏は今回依願退職、二十七日富士丸にて内地へ歸還することになつたので同社では販賣係長岩崎文雄氏に總務部長代理を命じた、後任積有恒氏が着任するのは明年一月末であるからそれまで岩崎氏が代理するわけである

臺灣製氷總會

配當年三分

資本金十万円內拂込七万円の臺灣製氷會社は本月二十日午後四時新富町の同社で第四回定時總會を開催、昨年九月より本年十月に至る一年間の利益處分案を附議し尙前社長和田彰氏病歿後未亡人和田サクイ女史が社長となつてゐたが同女史も最近病氣の爲辭任したので前社長、前專務に對する功勞金贈呈の件を附議する由、當期は夏季酷暑の爲めと宋專務が取締となり宋瑞昌氏が專務に就任し元專務中畑龍鐵氏も去る六月辭任したので總收入に於て二万七千円と前期に比し四千円を增加し約九千円の純益を擧げ之に前期繰越二千九百円を合せて一万二千餘円に上り前記二口の功勞金を支出した上、尙年三分の配當をすることに內定してゐる

戰捷景氣で

木材先高見越

手具脛引て待機

年內愈々押詰つた今日島內木材市況は依然底堅く好況裡に終始してゐる、內地材丸太臺北卸値は一才八錢八厘、角材十七、八錢、板割五分物四円九十錢と一、二ケ月前と變らぬも年明け後の船運賃はまた一割位の引上げ見込と戰捷景氣を期待して買慣みの姿である、內地は秋頃には人夫不足と特殊方面の大量需要で出廻難を叫つてゐたが、需用一巡と相俟つて頃來島內への移入は潤澤に行はれてゐる、ベニヤ材は北支の注文が內地に殺到し北洋材は戰捷氣分がグングンと力强く響き中丸太も唱へ一千三百円と百円方强含みとなり、明年の新材相場は沖千三百円必至と豫想されてゐる、營林所の檜原木はだんだん小さくなりゆき福州杉の在荷は殆ど皆無である

花蓮港木材會社

總會

【花蓮港電話】花蓮港木材會社では二十四日午前十時から同社に總會を開き第二十六回決算報告を行つたが、損益決算、製品收入四十万四千六百八十四円、雜收入とも合計四十六万七千二百十二円、利益金六万四千十七円、固定資金償却三万円であつた

臺北の酒賣捌人

區域變更後の實績

臺北市內の酒賣捌人は元六區に分れてゐたのを去七月から八區に改め陳天順氏の跡へ猪口氏が指定され別に大塚、岩崎兩氏が割込んだ關係上各賣捌人の區域と賣捌金額に可なりの變化を來したが七月から最近迄の實績によると一番大きく總額を揚つたのは近藤商會で以前と十四五万円ほど違ひ次は西村の約十万円で他は十万円以下五万円位の程度らしい、就中宅商會は區域が城內から元の辰馬の區域即ち大稻埕方面に移つたので從來內地人の小賣人を主として四十餘人であつたのが今度は本島人の小賣人を主として一躍八十人に增加した代りに小賣人一人當りの販賣高が內地人よりも少く漸々區域變更後の賣捌金高は變更前と大差なく又桑田は從來万華方面と老松町、若竹町を區域として此の區域には西村區域內の艋舺に次ぐ有力な小賣人勝田を擁してゐただけに老松町、若竹町を他に讓つただけ影響を受けた一方新に堀江町、苗圃方面を擁したが此の方面には小賣人が少いだけに老松町、若竹町を失つたその補ひがついてゐない、辰馬は宅商會の元の區域即ち城內に移つたので小賣人の數は從前よりも減つたが、賣捌金高ではその割に減らぬさうで先づ從前と大差ないといふところである、序乍ら七月から新に割込んだ二人の賣捌人中岩崎氏は元の專賣支局長、大塚氏は臺北の居住者で臺灣に販賣區域を持つてゐたのを居住地臺北に變更してもらつたので旅費を省き且つ監督が行屆いて賣利を完全に擧げることが出來、非常に好都合だと云ふことである

臺北組合銀行週報

十二月十八日現在

項目	當座預金	特別當座預金	通知預金	定期預金	諸預金	預金合計	有高金銀
組合銀行合計	7,721	29,911	3,039	23,637	5,986	70,294	61,890
前週12月11日	7,486	30,129	3,072	23,618	5,923	70,228	55,303
前年12月19日	6,510	29,215	3,804	20,880	5,043	65,452	5,470

項目	割引手形	手形貸付	證書貸付	荷爲替手形	買入爲替手形利付債	當座貸越	貸出合計
組合銀行合計	32,455	18,264	41,937	5,702	937	3,491	102,817
前週12月11日	32,097	17,458	41,240	5,175	912	4,345	101,833
前年12月19日	30,655	18,740	39,674	5,373	780	782	102,001

東西南北

島民の皇民化は國語の普及に、衛生の改善に、迷信の打破に將た國防獻金等に着々具現しつつあることは洵に喜びに堪へない、我が日本國民の最も記念すべき昭和十二年も將に暮れんとし東亞の平和と日支の提携を目ざす聖戰の進展裡に皇軍の捷報頻々たる裡に新年を近く迎へんとする今日、多年舊曆に習慣づけられて來た本島人が敢然舊正月廢止を斷行し新正には內地人と同樣門松を立てて祝賀を一擧にするといふことは之また皇民化の現はれであると云へる▲之については台北市內の各區長なども此の機運を逸せず舊正廢止と新正の勵行に遺憾なきやう區內の本島人間に之が周知徹底に努めてゐる年末多忙の際ではあり時にその勞を多としなければならぬ▲既に內台融和を念とし子女の訓育其他に內地化の範を示してゐる人に米商宋瑞昌君がある、君は國語學校出身で九男七女を有する子福者で、長男宋進英君(三〇)は東大法科を卒へ今東京で弁護士を開業してゐるが、六男住吉郎君(?)以下は皆內地式の名前で三男が住三郎、四男住四郎、五男住五郎と呼び長女は秀子さんと云つたやうに內地式である▲次男だから宋君はその頃早くも今日あることを見越して皇民化の實踐躬行に移つた先覺者であつたと云へる▲宋君の母堂は今年七十四、家庭にあつて孫の娘さんから今少しも國語の習得に餘念がない、君の家庭では台湾語を廢し一切國語で用を足すことに努めてゐる▲本島人の中には早熟早老の人が尠くない、二十代に活躍し三十代に成功する人が比較的多い代りに四十代には早くも元氣が失せ五十代には隱居氣分になる人も間々見受けるのであるが、宋瑞昌君は今年五十二歲でまだまだ元氣潑剌として活動し正米市場の組合員たる傍ら台灣製氷會社の專務として之が經營に努力を傾注してゐる▲宋君は二十代の時と少しも氣分が變らない、無病息災至つて元氣で働けるのは攝生と運動を怠らないからでもあるが、一つは信仰のお蔭である、殆ど毎朝の樣に台灣神社に參拜してゐますと語つてゐたが、本島人實業家中君の如き人あるは洵に心强き限りである。

商業登記公告

臺灣製糖株式會社(變更)取締役陳元全ハ昭和拾貳年拾貳月貳拾日辭任ス

右昭和拾貳年拾貳月貳拾四日登記

臺北地方法院臺北出張所

第四拾回決算報告

貸借對照表(昭和十二年十月三十一日)

資産ノ部	圓
起業費	[illegible]
倉庫品	[illegible]
製品	[illegible]
正貨	[illegible]
合計	[illegible]

負債ノ部	圓
株金	[illegible]
法定積立金	[illegible]
別途積立金	[illegible]
恩給基金	[illegible]
預り金	[illegible]
未拂配當金	[illegible]
未決算	[illegible]
仕拂手形	[illegible]
三井鑛山株式會社	[illegible]
臺灣銀行	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
當期利益金	[illegible]
合計	[illegible]

右ノ通リニ候也

昭和十二年十二月

基隆炭礦株式會社

株式名義書換停止

期間 自昭和十二年十二月[illegible] 至昭和十三年一月[illegible]日

南邦自動車株式會社

大阪商船 臺灣出帆

◎基隆出帆(入港船は當日出帆)
門司神戸行(瑞穗丸 高砂丸) [illegible]
香港行 香港丸 一月二日正午
鹿兒島長崎博多北鮮行 河南丸 [illegible]
沖繩行 湖北丸 [illegible]
宮古八重山行 大球丸 [illegible]
高雄 花蓮港めぐり丸 [illegible]
比律賓行 しかご丸 [illegible]
西貢盤谷行 はわい丸 [illegible]
タワオ爪哇行(南洋航路)

◎高雄出帆
マカッサ丸 一月四日正午
香港行 香港丸 [illegible]
馬公行 廣東丸 毎奇數日午後九時
東京直行 高雄丸 [illegible]
其他臨時便多數アリ 臺北電話五八五〇

近海郵船 基隆出帆

門司神戸行
富士丸 十二月廿七日前十時發
大和丸 一月二日 午後五時
上海內地行
伏見丸 一月五日前九時
香港廣州行
箱根丸 一月廿六日正午

辰馬汽船 出帆

桐葉丸 十二月廿九日入港
平榮丸 一月三日[illegible]

大連汽船 基隆出帆

大連直行
山西丸 十二月廿七日正午

丸一組 [illegible]

臺北市新年婦人交禮會

一、日時 明春一月七日午後二時
一、會場 臺北市公會堂
一、會費 金五拾錢也
一、申込 本月三十一日限(住所氏名ニ會費ヲ添ヘ[illegible]事務所ニ申込相成度尙本年ハ時局柄餘興廢止)

昭和十二年十二月二十七日

婦人交禮會發起人 石井喬子

喪中ニ付年始ノ御挨拶ヲ御遠慮申上候

臺北市大和町四ノ二
高濱商會
高濱喜八

喪中ニ付年末年始缺禮仕候

金森商會營業部
樺山ビル、アパート

喪中ニ付年末年始ノ御挨拶ヲ缺禮申上候

臺北市榮町四丁目 電五二八五
阿部衣服店
阿部伊三郎

喪中ニ付年末年始ノ禮ヲ御遠慮申上候

臺北市本町 電話二〇八六番
瀧村兄弟商行

喪中ニ付年始ノ御挨拶御遠慮申上候

臺北市京町二丁目
次高商店
仲下誠剛

喪中ニ付年末年始缺禮仕候

田島保五郎商店

喪中([illegible])ニ付年末年始缺禮仕候

升川洋服店
升川博文

喪中ニ付年末年始缺禮仕候

花蓮港街
古賀朝一郎

喪中ニ付年末年始ノ御挨拶ヲ御遠慮申上マス

玉里
宮瀨浩

くすりをあわせます
處方調劑致します

臺北市榮町四丁目[illegible]
信生堂藥局
電話三二八九番

內科 小兒科

本町二丁目[illegible]
樋詰醫院
(入院隨時) 電話[illegible]

實業之日本

躍進の新年號

銃後經濟記事滿載

事變その後はどうなる

▽統制經濟はどうなる・（小島經濟研究所長）小島精一
▽財政はどうなる・（經濟學博士）牧野輝智
▽金利はどうなる・（前日銀理事）堀越鉄藏
▽物價はどうなる・（經濟學博士）木村增太郎

◎一九三八年の世界はどう動く…（法學博士）鹿島守之助
◎世界景氣は上向か下向か（帝大教授）谷口吉彦

上向か？下向か？
昭和十三年の景氣の動き

▽景氣は跛行狀態…（慶大教授經濟學博士）金原賢之助
▽景氣は依然持續…（三井信託常務）色川俊次郎
▽惡性インフレの懸念なし…（大阪商船取締役）杉山義夫
▽前途極めて明朗…（早大教授經濟學博士）服部文四郎
◎經濟界の基本的動向をみる……飯田清三

◎醒覺すべき皇恩と國恩……德富蘇峰
◎帝國の大使命と國民の自省（實業之日本社々長）增田義一
◎新春閑話（二十年前の私）（男爵）鄉誠之助
◎青年に與ふるの書…室伏高信
◎勝利者たるの道……加藤咄堂
◎清心禪話……高階瓏仙

小林一三氏に物を訊く會

◎事業經營のコツ（日本曹達社長）中野友禮
◇腕一本で二千萬圓の會社を造り上げた日本特殊鋼管專務中島統一氏奮鬪記
◇三十四歲で次の名人に決定した將棋界の鬼才木村義雄八段

「一萬圓を作る」新研究

▼サラリーマンが貯金で行くには　田口鋼輔
▼貸家經營で行くには　玉塚締伍
▼株式投資で行くには　難波篁人
▼債券利殖で行くには　園史郎
▼私はかうして一萬圓作った（四[illegible]）

今年こそは繁昌設計

・中小工業の繁昌設計…日本商業　田中要人
・商店の繁昌設計・東京市商工相談所　園田理一
・サラリーマンの貯金設計…白塞老人

▼はりきりサービス法…（高島屋取締役）川勝堅一
▼はりきり外交法……（第一生命東京支部長）波[illegible]幸吉

▼今後の株式選擇法（中外商業調査部長）前田[illegible]
▼新時代の資産株・これから妙味ある國策株
▼この際推奬したき資産株ベストテン

★初春・お笑ひ座談會（石黑・飯田・土居・德川）
★日本軍歌番附
★寅年生れ名士番附
★當世虎番附
★東西甲冑漫談
◎冬の衛生常識・寢冬とる時の注意……（醫學博士）[illegible]
◎胃腸を強くする冬の病氣と治療法…（醫學博士）西[illegible]

別冊附錄

四六判　堂々二百頁の單行本附錄

北支進出案內

開かれたる北支の寶庫！行け！新天地北支へ！
本書こそは北支進出のよきガイドブックにして、國民必讀の北支研究讀本

〜〜目次の一部〜〜

◎支那はどこまで戰費が續くか（高木陸郎）
◎支那經濟力の實體……（三菱銀行上海支店長）
◎南京城（吉岡文六）　◎支那事變と國民外交
◎北支をめざす人々（鮎川・松岡・十河・安川・津田）
◎わが皇軍建設者五人……松下芳男
・北支は日本にとって何故必要か……井上[illegible]
・北支の資源と經濟建設の目標……[illegible]
◎北支では今どんな商賣がよいか（北京にて）東京商工會議所　小林幾次郎
◎北支でどんな商賣が有望か（[illegible]）

定價七十錢（送料[illegible]）[illegible]

東京　實業之日本社（振替東京[illegible]）

臺灣六法（定價四圓也　送料卅八錢）
發行所　臺灣日日新報社營業部

●のむならノーシン！　頭痛は苦痛だ●

ナショナル ランプ用

ナショナル乾電池

内容公開の、安全な家庭藥！

ミツワ鼻病液

鼻の病氣にはいろいろの種類がありますが、一般的の鼻加答兒（鼻風邪）から慢性の肥厚性鼻炎、其他すべて腦の作用を害し事務や勉學の大きな妨げとなりますから一刻も早く御家庭での簡易な治療をお奬め致します。本劑は配合藥品をハッキリ記した最も信用の置ける家庭藥であります。

適應症
鼻加答兒……
鼻閉塞……
肥厚性鼻炎
鼻出血……

定價壜入　金四十錢
携帯注藥器付壜入　金七十錢

◎ミツワ石鹸本舖　東京・兩國　丸見屋商店・藥品部

石坂洋次郎著

續 若い人

最新刊發賣

ノート判上製美本　鈴木信太郎裝幀
定價一圓八十錢　送料十四錢

出ました！お待ちかねの續篇が!!

どこへいつても「若い人」の話で持ち切りです

面白いといふ言葉は本書のために作られた言葉だ!!本書は何處へ行つても相變らず引つ張り凧だ!!前篇を讀んだ人で誰か江波惠子の正體をはつきり掴んだと考へた者があらうか。間崎でも、橋本先生さへも手古摺らせた彼女だ!!恐らく世界中の人が彼女の正體をつきとめようとして青白い霧の中にさまよはねばならぬだらう。青春の花園に咲く妖花江波惠子!!彼女は世紀の謎だ!!若き時代の魂にとつて、その父兄にも又教育家にとつても、本書は只日本一の面白い小說といふだけでなく立派な人生敎科書だ!!さて本篇に躍る人々は?その後の惠子は?間崎は?橋本先生は?……全く息づまる此興味!!面白さ前篇を讀んだ人はもとよりこれから讀む人は前篇と併せてすぐ本書を手にとり給へ!!

何べんでも讀みたい小說　尾崎士郎

續篇（三田文學）できれぎれに讀んだから一卷に纏めたものをまた讀みかへしてみるとこの小說が何べんでも讀める小說であるといふことがわかつた。私は何よりも作者の生きることを苟くもしない峻烈な態度に心をうたれる。どんな騷がしい空氣の中でさへもこの小說だけが落ちついて入つてゆけるのは作者の[illegible]が隅々にまで泌み透つてゐるが故である。

續「若い人」を讀む　林芙美子

此頃の讀物のうちで、「若い人」ほど愉しかつたものはありません。江波惠子と云ふ一少女を私は自分の幼い日にくらべおきかへ、讀みながらよくも若い女の心を描き得てゐるものと感心するのです。間崎の性格、橋本の性格、これは全國の學校の教員室にかならず一人二人はあるたら若い教師の面影です――「若い人」は私達若い者に親しい青春を敎へてくれる書だとおもひます。

忽ち三十六版

若い人　前篇
好評嘖々!!　遂に卅九版!!
ノート判上製　定價一圓八十錢　送料十四錢

どこの映畫館でも「若い人」は超滿員でした

東京市芝町新橋七丁目　振替東京八四〇二番
改造社發行

L　A　I　T

アレ知らぬ青春の若肌を創る

レートクレーム

皮膚の生活機能が衰へて
肌アレ・小ジワが出來ます

そこで

豐かな榮養と・適度の潤ひを絶へずお肌に與へて・生活力を昂めることが何より肝要です

CRÈME LAIT
レートクレーム

それには乳化完全で濃度の高いレートクレームでお手當することです・有効成分はお肌にサラッと溶け込んで新陳代謝を旺にし・榮養効果を昂め・シットリお肌を潤ほして外氣の刺戟を完全に防いでくれるので・どんな寒さにもアレ知らぬ潑剌明朗の若肌が保てます

レート化粧料本舖・東京・平尾賛平商店